

令和8年度 若者の声アンケート 調査結果報告書

令和8年8月
徳島市



－ 目 次 －

<u>I 調査概要</u>	<u>1</u>
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査の実施概要	1
<u>II 回答者の属性</u>	<u>2</u>
<u>III 調査結果の概要</u>	<u>3</u>
<u>IV 調査結果</u>	<u>5</u>
1 結婚について	5
2 子どもについて	11
3 居住意向について	18
4 仕事について	23
5 まちづくりについて	31
<u>参考資料</u>	<u>32</u>
1 お知らせチラシ	32
2 調査項目一覧	33

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、徳島市内在住の 18 歳から 34 歳までの若者を対象に、①結婚、②子ども、③居住意向、④仕事、⑤まちづくりの各分野にわたる実態と意識を把握するためにアンケート調査を実施しました。

徳島市総合計画2025で掲げる将来像『おどる街 つながる笑顔 水都とくしま』の実現に向け、若者が自分らしく躍動し、活躍できる魅力あるまちづくりを推進するためには、若者の声を伺い、施策へ反映することが不可欠であり、本調査の結果を基礎資料として活用し、若者に選ばれるまちづくりに資することを目指すものです

2 調査項目

若者の声アンケートの調査項目は、以下のとおりです。

- ① 結婚について(婚姻状況、結婚願望、独身でいる理由等)
- ② 子どもについて(子どもの有無、理想の子ども数、子どもを希望しない理由、取り組むべき支援等)
- ③ 居住意向について(居住状況、5年後の居住地、転居する理由等)
- ④ 仕事について(就職先の希望、県内又は県外で就職する理由、取り組むべき支援等)
- ⑤ まちづくりについて(若者に選ばれるまちになるために必要な取組等)

3 調査の実施概要

本年調査の実施概要は、以下のとおりです。

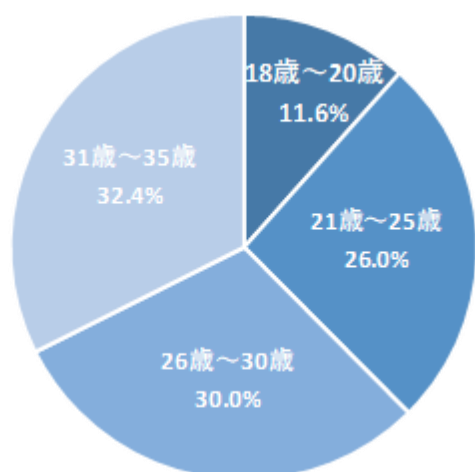
調 査 形 式	依頼方法:郵送によりアンケート票を発送 回答方法:インターネット回答(無記名方式)
調 査 期 間	令和8年5月 15 日(金)～6 月 15 日(月)
調 査 対 象	令和8年5月15日時点で市内在住している 18 歳以上 34 歳以下の市民 2,500 人を無作為抽出 ※男女、年齢の属性を考慮し抽出
回 収 数	466 件
回 収 率	19.2% ※未着 71 件を除外した回収率

II 回答者の属性

回収した調査票の集計結果は、Ⅱ～Ⅳのとおりです。

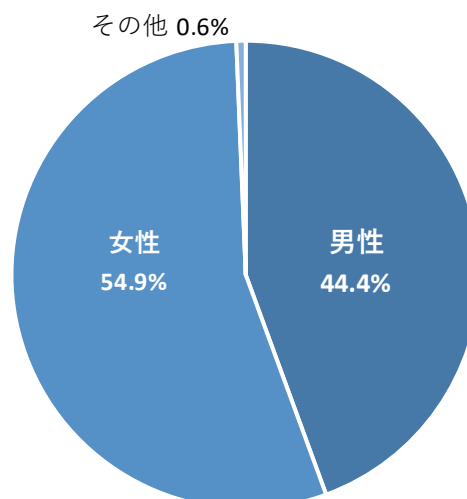
なお、比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合があります。また、複数回答の場合は、比率の合計が100.0%を超えることがあります。

Q1 年齢



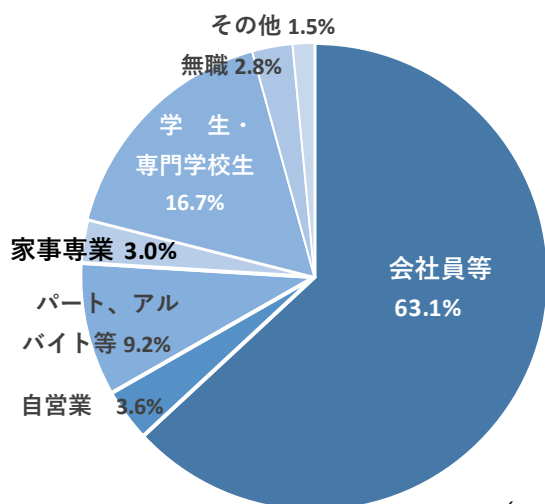
(n=466)

Q2 性別



(n=466)

Q3 職業



(n=466)

性別	466	100%
男性	207	44.4%
女性	256	54.9%
その他	3	0.6%
年齢	466	100%
18～20歳	54	11.6%
21～25歳	121	26.0%
26～30歳	140	30.0%
31～35歳	151	32.4%
職業	466	100%
会社員等	294	63.1%
自営業	17	3.6%
パート、アルバイト等	43	9.2%
家事専業	14	3.0%
学生・専門学校生	78	16.7%
無職	13	2.8%
その他	7	1.5%

Ⅲ 調査結果の概要

① 結婚について

- 現在の結婚相手や交際相手と知り合ったきっかけは、「SNS、ウェブサイト、アプリ等のネットで」が最も多く約3割を占めている。次いで「職場や仕事の関係で」「学校で」となっている。
- 未婚者に対して将来の結婚意思を質問したところ、約8割の人が将来的に結婚したい(「すぐにでも結婚したい(11.5%)」「いずれは結婚したい(64.6%)」)と思っていることがわかった。
- 現在独身でいる理由は、「出会いの機会が少ない、理想の相手に出会えていない」が最も多く33.2%となっており、次いで「今は、仕事や学業に打ち込みたい」「今は、趣味や娯楽を楽しみたい」となっている。

② 子どもについて

- 理想の子ども数は、「2人」が最も多く 54.1%となっており、次いで「3人」「1人」で、平均理想子ども数は 2.0 人であった。
- 理想とは別に現実もつであろう子ども数は、「2人」が最も多く 44.6%となっており、次いで「1人」「0人」であった。平均子ども数は 1.4 人で、平均理想子ども数と比べると▲0.6 人となっており、理想の子ども数をもてないと思う人が多くいることがわかった。
- 理想とする子ども数をもてないと思う理由は、「子育てにかかる経済的負担が大きい」が最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいと感じる」「将来の収入や雇用に不安がある」となっている。
- 結婚・出産・子育てについて、行政が取り組むべき支援として、「妊娠・出産にかかる費用の負担軽減」が最も多く、次いで「保育料の軽減・無償化の拡大」「結婚に伴う費用(新生活・住居など)への補助」となっており、経費に対する負担が上位を占めている。

③ 居住意向について

- 住むエリアを検討するにあたり重要だと思うことは、「職場までの距離・通勤時間」が最も多く61.6%となっており、次いで「周辺環境(治安の良さ・静かさ)」「買い物・生活の利便性」となっている。
- 5年後も徳島市に住みつづけていると思う人は約6割いる一方、県内他市町村や県外へ転居していると思う人も2割近くいた。
- 徳島市から転居するであろう理由は、「転職」が最も多く 42.0%となっており、次いで「転勤、異動」「生活環境の利便性向上(交通・買い物等)」となっている。

④ 仕事について

○学生・専門学校生、無職の人を対象に将来、県内・県外どちらで働きたいかを質問したところ、「県内」が39.6%、県外が44.0%であり、県外が県内を上回っている。

○県内での就職を希望する理由は、「徳島での生活に慣れている」が最も多く52.8%となっており、次いで「家族や友人が近くにいる」「都会の生活に魅力を感じない・合わない」「徳島に愛着がある・貢献したい」となっている。

○一方、県外での就職を希望する理由は、「都会の方が仕事の選択肢が多い」が最も多く55.0%となっており、次いで「大手企業・有名企業で働きたい」「徳島に魅力がない」となっている。

○仕事や就職先を選ぶ際に重視することは、「給与」が最も多く81.8%となっており、次いで「勤務時間(残業)、休日」「職種、業種」となっている。

○県内就職を推進するために、行政が取り組むべき支援は、「県内企業の情報提供や魅力発信」が最も多く44.6%となっており、次いで「テレワークなど多様な働き方を可能にする企業のDX化支援」「企業への啓発など労働環境改善や多様な人材が活躍できる環境整備」となっている。

⑤ まちづくりについて

○若者に選ばれる徳島市になるために必要な取組は、「妊娠期から出産・子育て期までの切れ目のない経済支援や相談体制の充実」が最も多く44.2%となっており、次いで、「仕事と子育てが両立しやすい柔軟な働き方の推進」「公共交通機関の利便性向上」となっている。

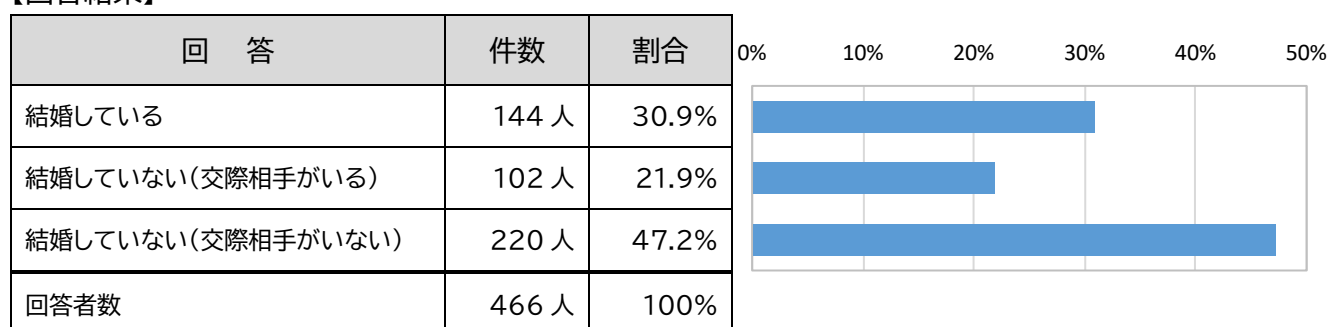
IV 調査結果

1. 結婚について

Q4 あなたは、現在、結婚されていますか。

結婚している人の割合は 30.9%となっており、交際相手がいない人は半数近くであった。また、結婚した年齢をみると、男女とも 20 代後半のボリュームが大きくなっている。

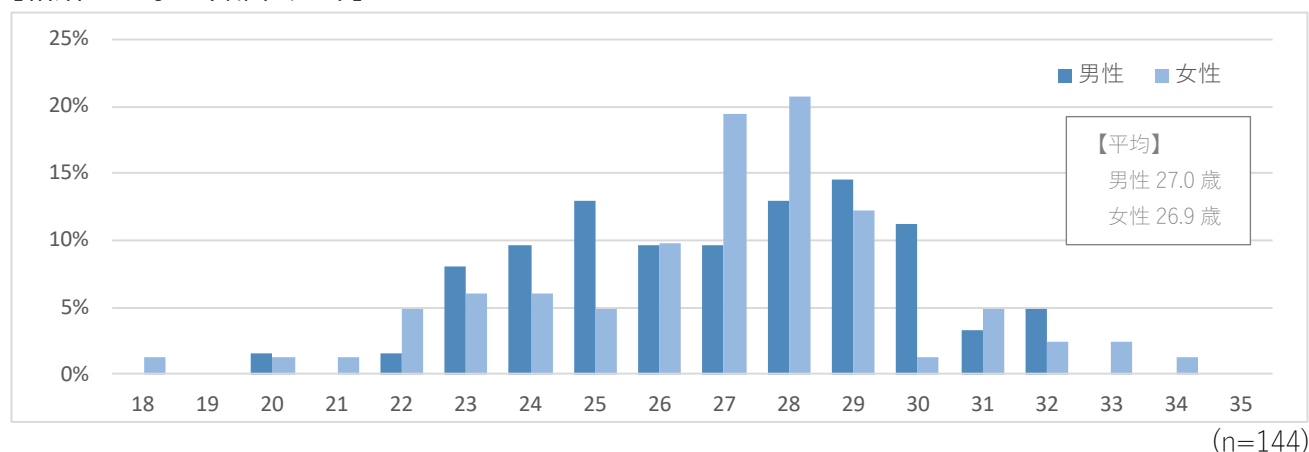
【回答結果】



【性別・年齢別】

		回答数 (人)	結婚している	結婚していない (交際相手有)	結婚していない (交際相手無)
性 別	男性	207	30.0%	17.4%	52.7%
	女性	256	32.0%	25.4%	42.6%
	その他	3	0.0%	33.3%	66.7%
年 齢 別	18～20歳	54	1.9%	24.1%	74.1%
	21～25歳	121	7.4%	33.1%	59.5%
	26～30歳	140	32.9%	25.0%	42.1%
	31～35歳	151	58.3%	9.3%	32.5%

【結婚した時の年齢(Q4a)】

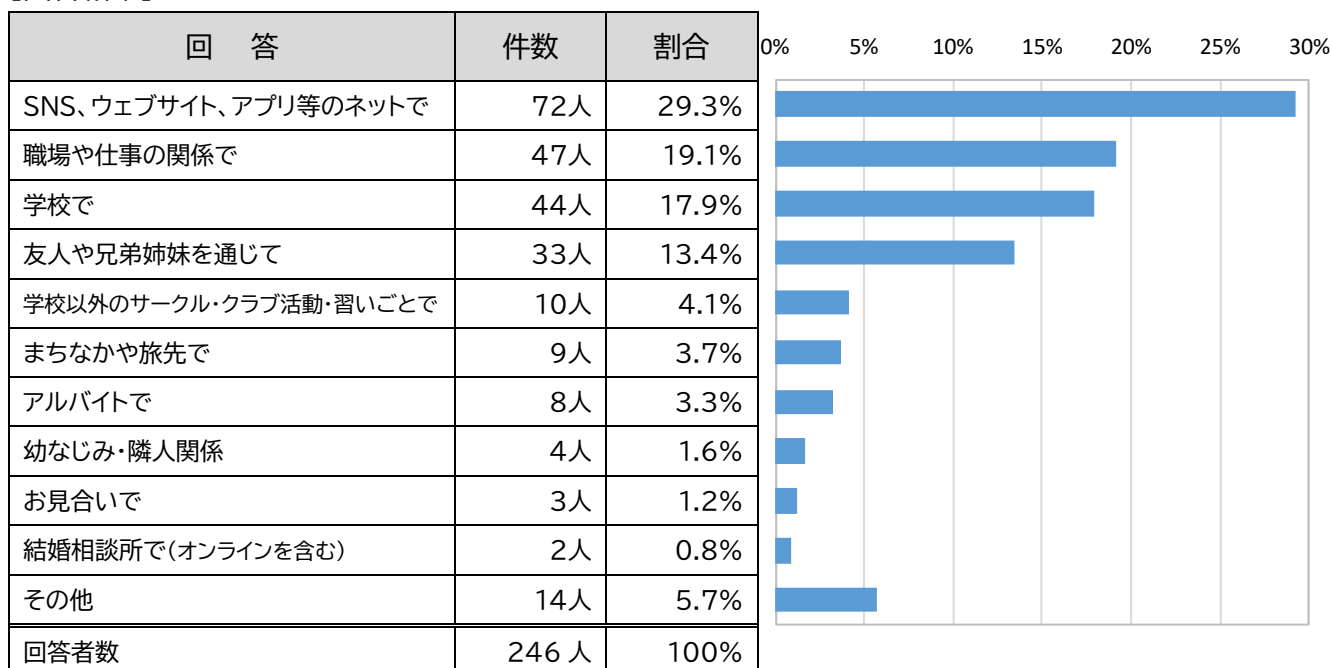


(Q4 で「結婚している」「結婚していない(交際相手がいる)」を選択した人)

Q5 現在の結婚相手や交際相手とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。

「SNS、ウェブサイト、アプリ等のネット」が最も高く約3割となっており、次いで「職場や仕事の関係で」「学校で」が高くなっている。女性は男性より「SNS、ウェブサイト、アプリ等のネット」が高くなっており、26～30歳では4割以上が「SNS、ウェブサイト、アプリ等のネット」で知り合っている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

		回答数 (人)	SNS・ウェブ サイト・ アプリ等	職場・仕事	学校	友人等の 紹介	サークル・ クラブ・ 習い事	まちなかや 旅先	アルバイト	幼なじみ・ 隣人	お見合い	結婚相談所	その他
性別	男性	98	21.4%	24.5%	19.4%	17.3%	3.1%	2.0%	3.1%	3.1%	1.0%	0.0%	5.1%
	女性	147	34.0%	15.6%	17.0%	10.9%	4.8%	4.8%	3.4%	0.7%	1.4%	1.4%	6.1%
	その他	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	18歳～20歳	14	14.3%	0.0%	50.0%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	21歳～25歳	49	28.6%	14.3%	22.4%	10.2%	6.1%	0.0%	10.2%	6.1%	0.0%	0.0%	2.0%
	26歳～30歳	81	42.0%	18.5%	11.1%	9.9%	3.7%	2.5%	1.2%	0.0%	3.7%	0.0%	7.4%
	31歳～35歳	102	21.6%	24.5%	16.7%	17.6%	2.9%	4.9%	2.0%	1.0%	0.0%	2.0%	6.9%

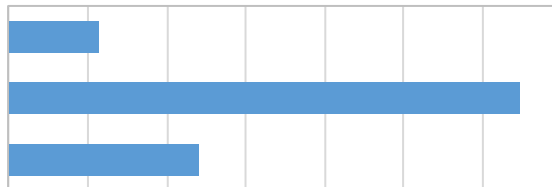
(Q4で「結婚していない(交際相手がいる)」「結婚していない(交際相手がいない)」を選択した人)

Q6 あなたは、結婚したいと思いますか。

将来的に結婚したいと思う市民の割合は約8割(76.1%)であった。一方で、2割以上の人が結婚したいと思っていない。男性と女性の差はほとんどないが、年齢別の「結婚したいと思わない」割合を見ると、年齢を重ねるにつれ低くなる傾向があり、26～30歳で約30%、31～35歳で約40%と高くなっている。

【回答結果】

回 答	件数	割合	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%
すぐにでも結婚したい	37人	11.5%								
いずれは結婚したい	208人	64.6%								
結婚したいと思わない	77人	23.9%								
回答者数	322人	100%								



【性別・年齢別】

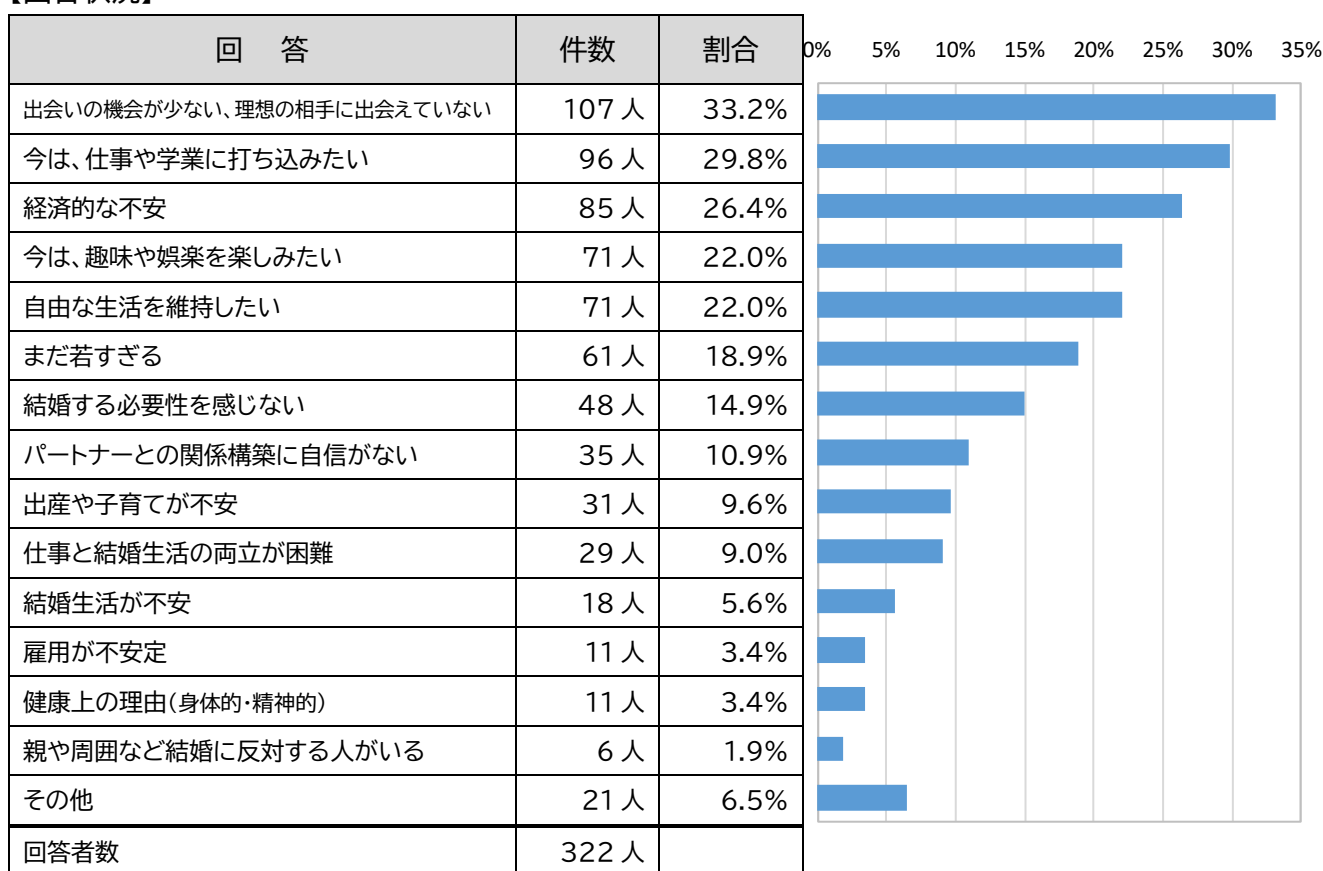
		回答数 (人)	すぐにでも 結婚したい	いずれは 結婚したい	結婚したいと 思わない
性 別	男性	145	7.6%	66.9%	25.5%
	女性	174	14.9%	63.2%	21.8%
	その他	3	0.0%	33.3%	66.7%
年 齢 別	18～20歳	53	0.0%	86.8%	13.2%
	21～25歳	112	14.3%	68.8%	17.0%
	26～30歳	94	13.8%	57.4%	28.7%
	31～35歳	63	12.7%	49.2%	38.1%

(Q4で「結婚していない(交際相手がいる)」「結婚していない(交際相手がいない)」を選択した人)

Q7 あなたが現在独身でいる理由を次の中から選んでください。(3つまで選択可)

「出会いの機会が少ない、理想の相手に出会えていない」が最も多く3割を超えており、次いで「今は、仕事や学業に打ち込みたい」「経済的な不安」が高くなっている。男性は女性より「経済的な不安」が高く、18～25歳は「今は、仕事や学業に打ち込みたい」、31～35歳は「自由な生活を維持したい」が高くなっている。

【回答状況】



【性別・年齢別】

	回答数 (人)	出会いの 機会が 少ない等	仕事・学 業に打ち 込みたい	経済的な 不安	趣味・娯 楽を楽し みたい	自由な 生活	まだ若す ぎる	結婚する 必要性を 感じない	パート ナーとの 関係構築	出産や 子育てが 不安	仕事と結 婚の両立 が困難	結婚生活 が不安	雇用が 不安定	健康上の 理由	親や周囲 などの 反対	その他
性別	男性	145	34.5%	27.6%	31.0%	25.5%	19.3%	21.4%	13.1%	14.5%	7.6%	9.0%	5.5%	5.5%	0.7%	3.4%
	女性	174	32.8%	32.2%	21.8%	19.5%	24.1%	17.2%	15.5%	8.0%	11.5%	9.2%	5.2%	1.7%	2.9%	8.6%
	その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
年齢別	18～20歳	53	26.4%	58.5%	17.0%	20.8%	22.6%	58.5%	9.4%	1.9%	7.5%	3.8%	5.7%	1.9%	0.0%	0.0%
	21～25歳	112	33.9%	41.1%	21.4%	24.1%	13.4%	25.9%	9.8%	8.9%	6.3%	8.9%	3.6%	3.6%	4.5%	2.7%
	26～30歳	94	35.1%	12.8%	31.9%	21.3%	23.4%	1.1%	20.2%	14.9%	9.6%	9.6%	6.4%	2.1%	3.2%	2.1%
	31～35歳	63	34.9%	11.1%	34.9%	20.6%	34.9%	0.0%	20.6%	15.9%	17.5%	12.7%	7.9%	6.3%	4.8%	1.6%

(Q6で「結婚したいと思わない」を選択した人)

Q8 今後、あなたのお考えが「結婚したい」に変わる可能性はありますか。

現在「結婚したいと思わない」と回答した人のうち、何らかの理由で「結婚したい」に変わる可能性がある人の割合は 52.0%となっており、女性は男性より変わる可能性がある傾向がみられる。

【回答状況】

回 答	件数	割合	0%	10%	20%	30%	40%	50%
あると思う	6人	7.8%						
あるかもしれない	34人	44.2%						
たぶんないと思う	21人	27.3%						
ないと思う	16人	20.8%						
回答者数	77人	100%						

【性別・年齢別】

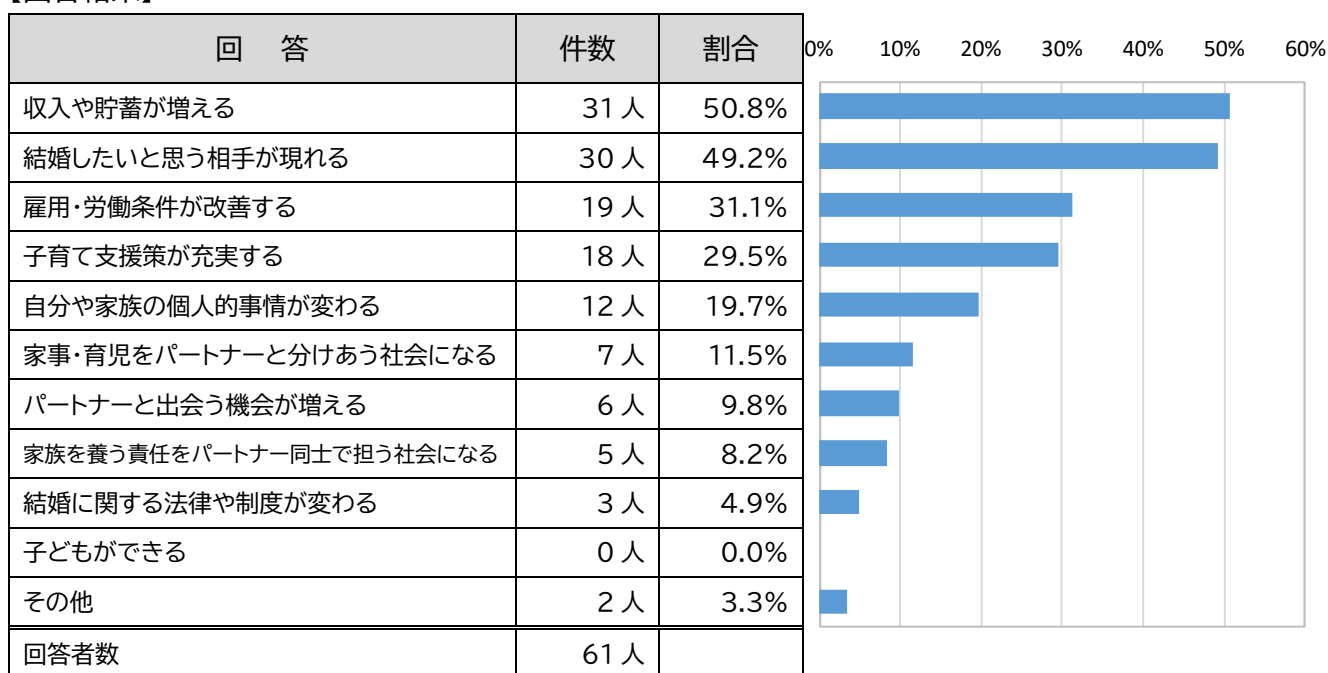
		回答数 (人)	あると思う	あるかもしれない	たぶんないと思う	ないと思う
性別	男性	37	8.1%	32.4%	32.4%	27.0%
	女性	38	7.9%	55.3%	23.7%	13.2%
	その他	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
年齢別	18～20歳	7	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%
	21～25歳	19	10.5%	42.1%	15.8%	31.6%
	26～30歳	27	7.4%	33.3%	40.7%	18.5%
	31～35歳	24	8.3%	58.3%	16.7%	16.7%

(Q8で「あると思う」「あるかもしれない」「たぶんないと思う」を選択した人)

Q9 「結婚したい」に変わるとすると、その理由として考えられるものを選んでください。(3つまで選択可)

「収入や貯蓄が増える」「結婚したいと思う相手が現れる」が約半数であり、次いで「雇用・労働条件が改善する」「子育て支援策が充実する」が高くなっている。男性は女性より「収入や貯蓄が増える」「雇用・労働条件が改善する」、女性は男性より「結婚したいと思う相手が現れる」が高くなっている。18～20歳は「収入や貯蓄が増える」「結婚したいと思う相手が現れる」「子育て支援策が充実する」、26～30歳は「雇用・労働条件が改善する」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

		回答数 (人)	収入や貯蓄 が増える	結婚したい と思う相手 が現れる	雇用・労働 条件が改善 する	子育て支援 策が充実す る	自分や家族 の個人的事 情が変わる	家事・育児 をパート ナーと分け あう社会に なる	パートナ ーと出会う機 会が増える	家族を養う 責任をパート ナー同士で担う社会 になる	結婚に関す る法律や制 度が変わる	子どもがで きる	その他
性 別	男性	27	63.0%	33.3%	55.6%	33.3%	25.9%	3.7%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	33	42.4%	63.6%	12.1%	27.3%	15.2%	18.2%	3.0%	15.2%	6.1%	0.0%	6.1%
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
年 齢 別	18～20歳	6	66.7%	66.7%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	21～25歳	13	38.5%	61.5%	23.1%	38.5%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%
	26～30歳	22	50.0%	40.9%	45.5%	18.2%	31.8%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%
	31～35歳	20	55.0%	45.0%	25.0%	30.0%	20.0%	15.0%	15.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%

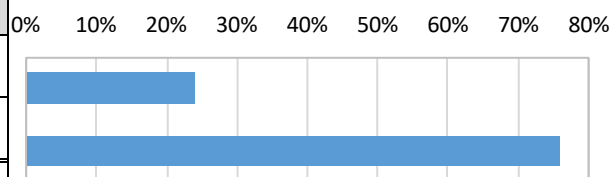
2. 子どもについて

Q10 あなたは、現在、子どもはいますか。

回答者のうち、子どものいる人の割合は24.0%となっており、31～35 歳は約半数(48.3%)が子どもがいる。

【回答結果】

回 答	件数	割合
いる	112人	24.0%
いない	354 人	76.0%
回答者数	466 人	100%



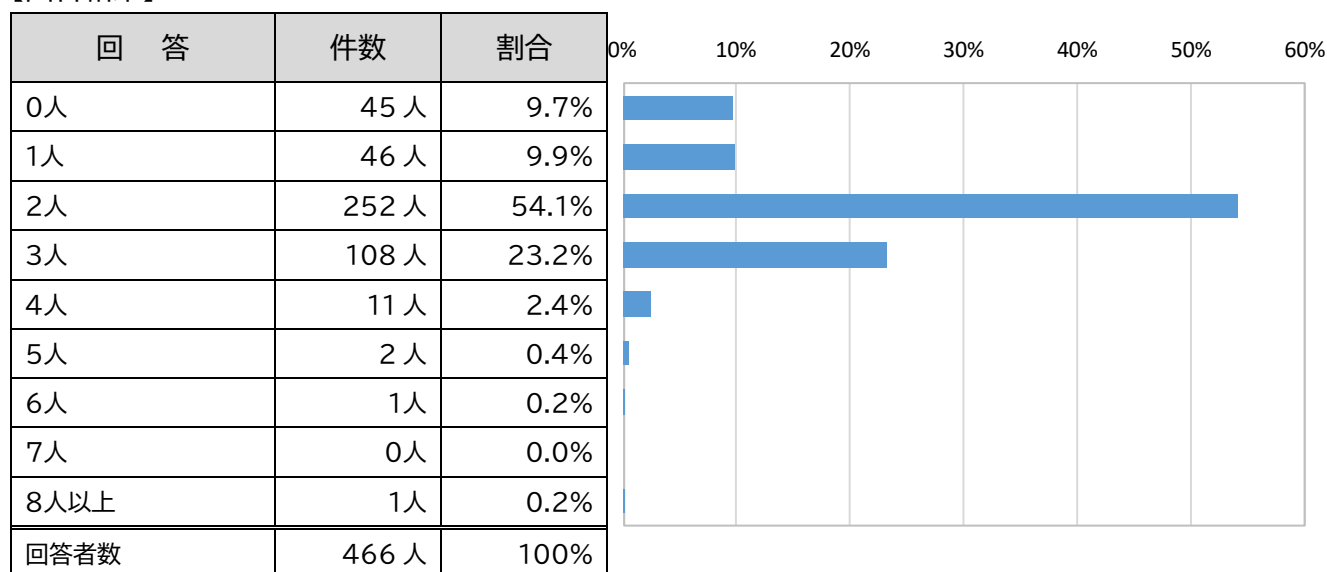
【性別・年齢別】

		回答数 (人)	いる	いない
性別	男性	207	20.8%	79.2%
	女性	256	27.0%	73.0%
	その他	3	0.0%	100.0%
年齢別	18～20歳	54	1.9%	98.1%
	21～25歳	121	7.4%	92.6%
	26～30歳	140	20.7%	79.3%
	31～35歳	151	48.3%	51.7%

Q11 子どもをもつなら何人が理想ですか。

理想の子ども人数は「2人」が最も高く5割を超えており、次いで「3人」が 23.2%、「1 人」が 9.9%であった。また、子どもを希望しない(0人)割合は 9.7%であった。平均理想子ども数は 2.0 人で、男女・年齢別とも大きな差はみられなかった。

【回答結果】



【性別・年齢別】

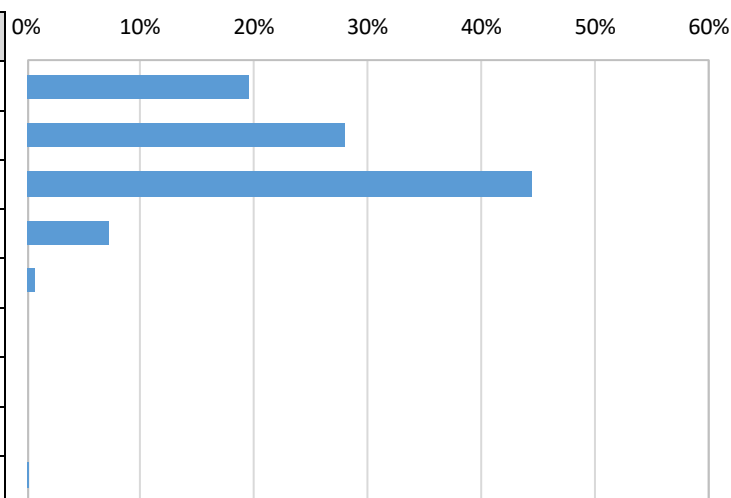
		回答数 (人)	平均	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人以上
性 別	男性	207	2.1	6.8%	9.2%	61.4%	19.3%	2.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%
	女性	256	2.0	10.9%	10.5%	48.8%	26.6%	2.3%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年 齢 別	18～20歳	54	1.9	13.0%	7.4%	59.3%	18.5%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	21～25歳	121	2.1	10.7%	6.6%	54.5%	25.6%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%
	26～30歳	140	2.0	10.7%	12.1%	52.9%	20.0%	3.6%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%
	31～35歳	151	2.1	6.6%	11.3%	53.0%	25.8%	2.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%

Q12 理想とは別に、現実は何人子どもをもつと思いますか。

現実もつであろう子ども数は「2人」が最も高く 44.6%となっており、次いで「1人」が 27.9%、「0人」が 19.3%であった。平均子ども数は 1.4人で、男女・年齢別とも大きな差はみられなかった。また、前問の理想子ども数と比較すると、平均子ども数は▲0.6人、「3人」が大きく減少し、「1人」「0人」が大きく増加しており、理想の子ども数をもてないと感じている人が多くなっている。

【回答結果】

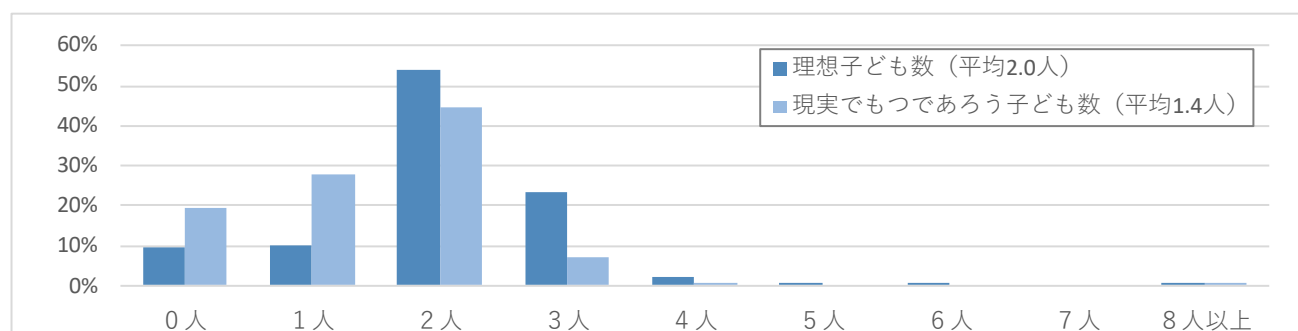
回 答	件数	割合
0人	90人	19.3%
1人	130人	27.9%
2人	208人	44.6%
3人	34人	7.3%
4人	3人	0.6%
5人	0人	0.0%
6人	0人	0.0%
7人	0人	0.0%
8人以上	1人	0.2%
回答者数	466人	100%



【性別・年齢別】

		回答数 (人)	平均	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上
性別	男性	207	1.5	16.4%	29.5%	44.9%	7.2%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
	女性	256	1.4	20.7%	27.0%	44.9%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	0.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	18～20歳	54	1.4	22.2%	24.1%	44.4%	9.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	21～25歳	121	1.5	18.2%	25.6%	47.9%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
	26～30歳	140	1.3	22.1%	30.7%	40.0%	5.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	31～35歳	151	1.5	16.6%	28.5%	46.4%	7.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

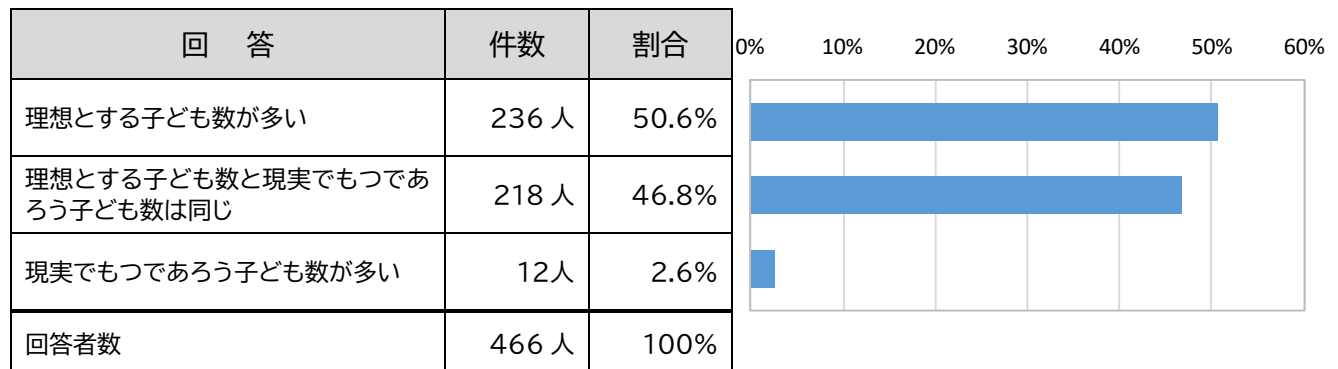
【参考:理想子ども数(Q11)と現実(Q12)でもつであろう子ども数の比較】



Q13 理想とする子ども数と現実でもつであろう子ども数を比べるとどちらが多いですか。

半数以上(50.6%)の人が何らかの理由で、理想とする子ども数をもてないと考えている現状である。

【回答結果】



【性別・年齢別】

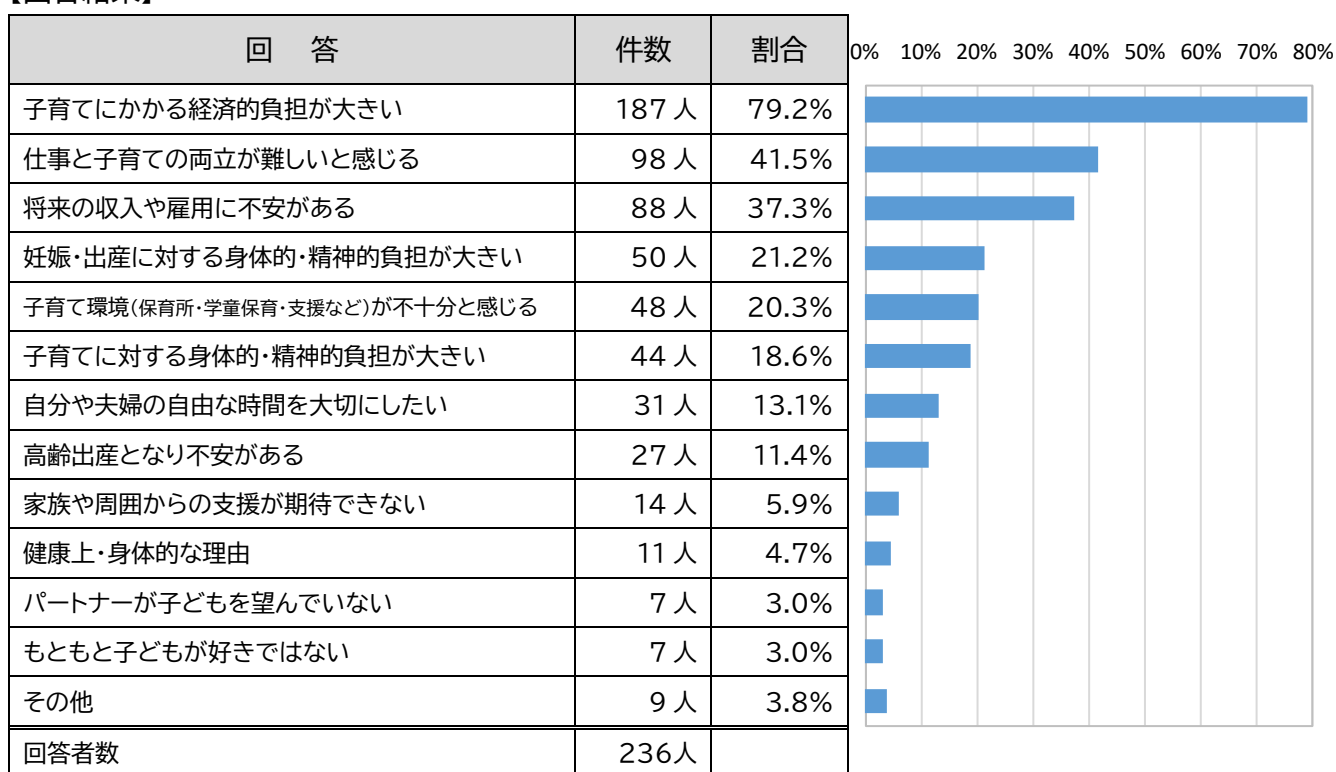
		回答数 (人)	理想とする 子ども数が多い	理想と現実の子ど も数は同じ	現実でもつであろ う子ども数が多い
性 別	男性	207	49.3%	46.9%	3.9%
	女性	256	52.3%	46.1%	1.6%
	その他	3	0.0%	100.0%	0.0%
年 齢 別	18～20歳	54	44.4%	55.6%	0.0%
	21～25歳	121	46.3%	52.1%	1.7%
	26～30歳	140	52.9%	42.9%	4.3%
	31～35歳	151	54.3%	43.0%	2.6%

(Q13で「理想とする子ども数が多い」を選択した人)

Q14 理想とする子どもの人数を現実では持てないと思われる理由を選んでください。(3つまで選択可)

「子育てにかかる経済的負担が大きい」が最も高く約8割となっており、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」「将来の収入や雇用に不安」が高くなっている。男性は女性より「将来の収入や雇用に不安」を、女性は男性より「仕事と子育ての両立が難しい」「妊娠・出産に対する身体的・精神的負担」が高くなっている。また、18～25歳は「将来の収入や雇用に不安」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

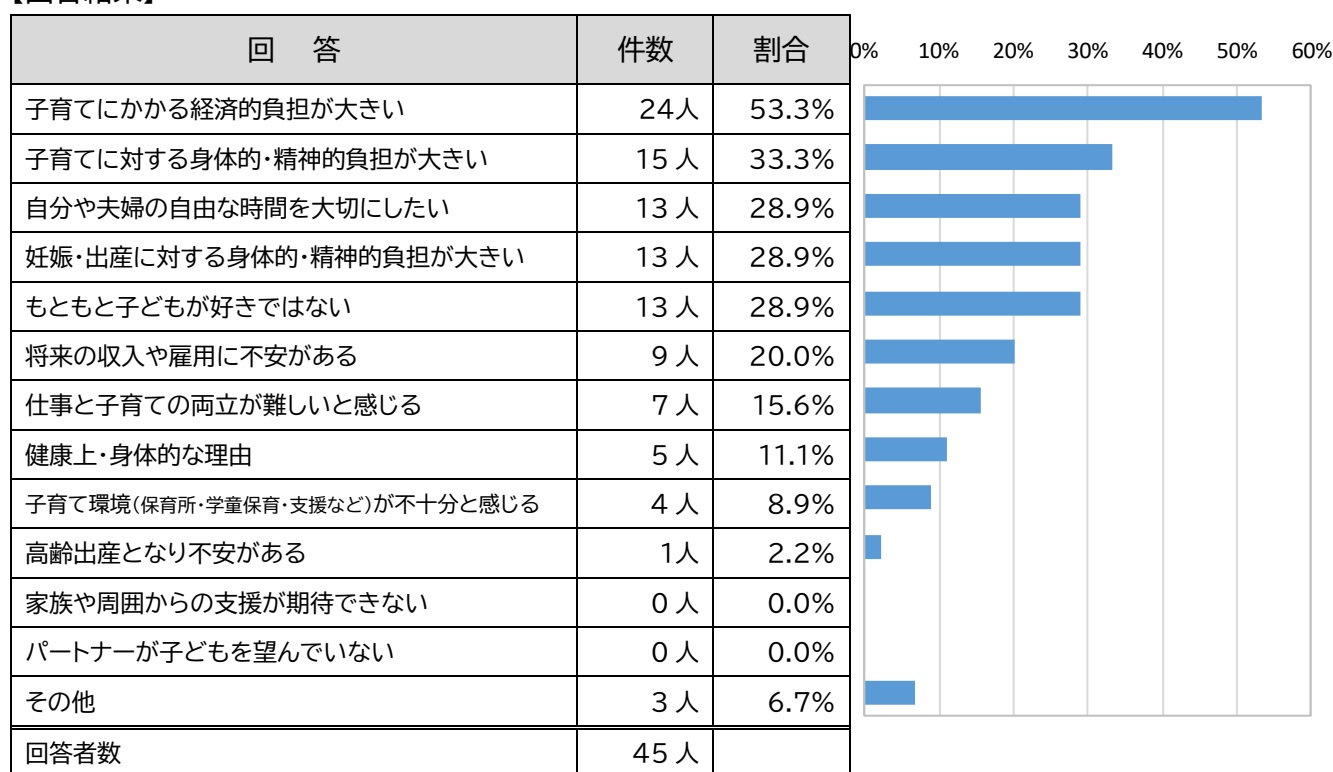
		回答数 (人)	子育てに かかる 経済的負担	仕事と子育ての 両立が 難しい	将来の収入 や雇用が 不安	妊娠・出産 に対する 身体的・ 精神的負担	子育て環境 が不十分	子育てに 対する 身体的・ 精神的負担	自分や夫婦 の自由な 時間を大切 にしたい	高齢出産 となり不安	家族や周囲 からの 支援が期待 できない	健康上・身 体的な理由	パートナー が子どもを 望んでいな い	もともと子 どもが好き ではない	その他
性 別	男性	102	82.4%	33.3%	44.1%	10.8%	19.6%	16.7%	17.6%	8.8%	5.9%	3.9%	2.0%	2.9%	4.9%
	女性	134	76.9%	47.8%	32.1%	29.1%	20.9%	20.1%	9.7%	13.4%	6.0%	5.2%	3.7%	3.0%	3.0%
	その他	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年 齢 別	18～20歳	24	70.8%	29.2%	50.0%	33.3%	8.3%	25.0%	16.7%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%
	21～25歳	56	85.7%	37.5%	46.4%	23.2%	14.3%	10.7%	17.9%	1.8%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	3.6%
	26～30歳	74	73.0%	48.6%	29.7%	13.5%	24.3%	25.7%	13.5%	10.8%	13.5%	9.5%	1.4%	5.4%	0.0%
	31～35歳	82	82.9%	41.5%	34.1%	23.2%	24.4%	15.9%	8.5%	20.7%	4.9%	3.7%	4.9%	0.0%	7.3%

(Q11で「0人」を選択した人)

Q15 あなたが、子どもを希望しない理由について、あてはまるものを選んでください。(3つまで選択可)

「子育てにかかる経済的負担」が最も高く5割を超えており、次いで「子育てに対する身体的・精神的負担」「自分や夫婦の自由な時間」「妊娠・出産に対する身体的・精神的負担」が高くなっている。女性は男性より「子育てに対する身体的・精神的負担」「自分や夫婦の自由な時間」「妊娠・出産に対する身体的・精神的負担」が高くなっている。

【回答結果】



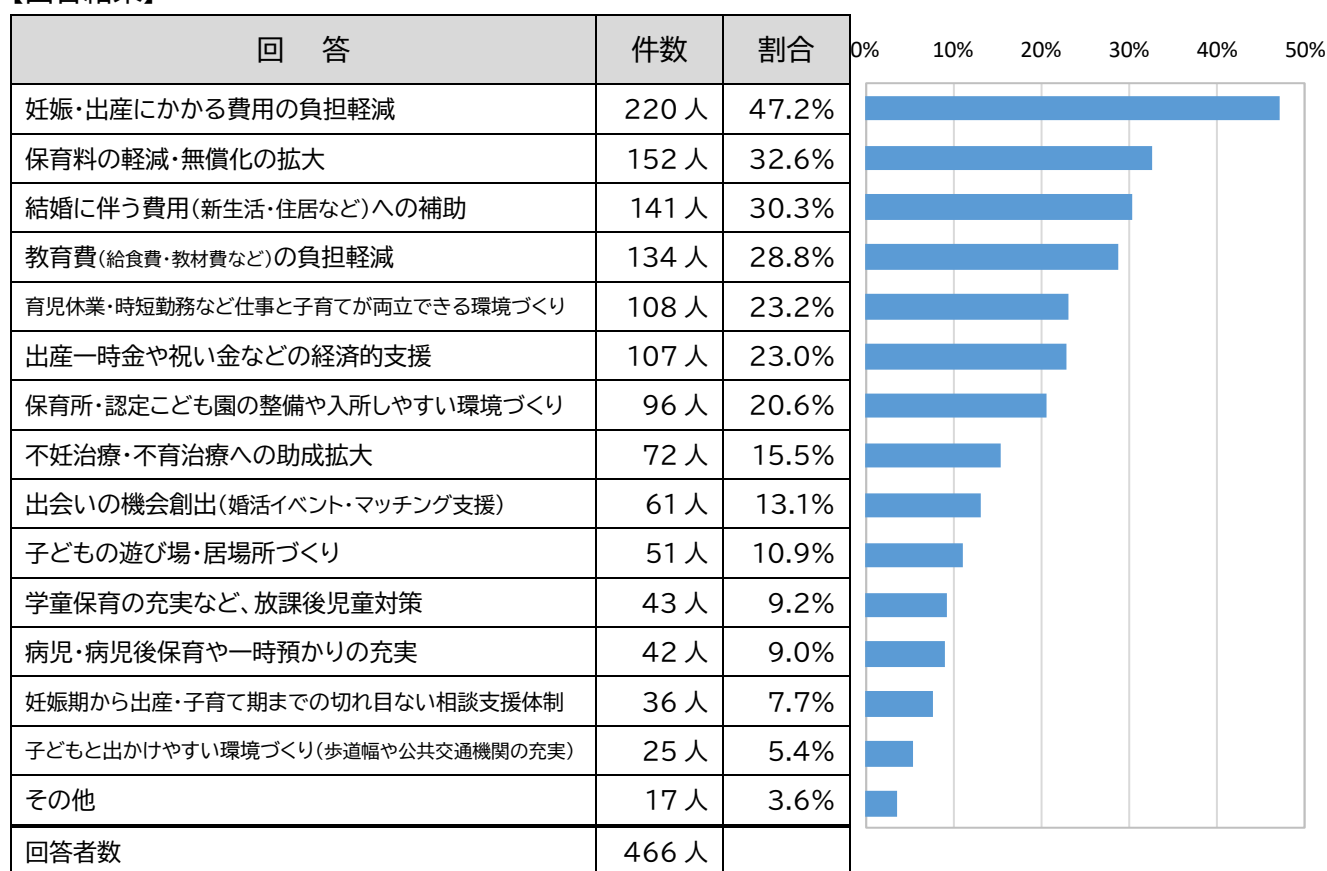
【性別・年齢別】

		回答数 (人)	子育てに かかる 経済的負担	子育て に対する 身体的・ 精神的負担	自分や夫婦 の自由な 時間を大切 にしたい	妊娠・出産 に対する 身体的・ 精神的負担	もともと子 どもが好き ではない	将来の収入 や雇用が 不安	仕事と子育て の両立が 難しい	健康上・身 体的な理由	子育て環境 が不十分	高齢出産 となり不安	家族や周囲 からの 支援が期待 できない	パートナー が子どもを 望んでいな い	その他
性 別	男性	14	50.0%	7.1%	7.1%	14.3%	28.6%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
	女性	28	53.6%	50.0%	39.3%	35.7%	32.1%	14.3%	14.3%	7.1%	10.7%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
年 齢 別	18～20歳	7	42.9%	42.9%	57.1%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	21～25歳	13	46.2%	23.1%	23.1%	23.1%	30.8%	15.4%	15.4%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
	26～30歳	15	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%	33.3%	26.7%	26.7%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	31～35歳	10	60.0%	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%

Q16 結婚・出産・子育てについて、行政が取り組むべき支援はどのようなものが考えられますか。(3つまで選択可)

「妊娠・出産にかかる費用の負担軽減」が最も高く約5割となっており、次いで「保育料の軽減・無償化の拡大」「結婚に伴う費用への補助」が高くなっている。男性は女性より「結婚に伴う費用への補助」「出会いの機会創出」が高くなっており、18～20歳は「教育費の負担軽減」、21～25歳は「結婚に伴う費用への補助」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

		回答数 (人)	妊娠・出産 にかかる費用の負担軽減	保育料の軽減・無償化の拡大	結婚に伴う費用への補助	教育費の負担軽減	仕事と子育てが両立できる環境づくりの促進	出産一時金や祝い金などの経済的支援	保育所・認定こども園の整備や入所しやすい環境づくり	不妊治療・不育治療への助成拡大	出会いの機会創出	子どもの遊び場・居場所づくり	学童保育の充実など、放課後児童対策	病児・病児後保育や一時預かりの充実	妊娠期から出産・子育て期までの切れ目ない相談支援体制	子どもと出かけやすい環境づくり	その他
性別	男性	207	43.5%	31.4%	36.7%	27.5%	19.3%	24.2%	18.4%	12.6%	20.8%	12.6%	7.7%	7.2%	4.8%	6.3%	3.9%
	女性	256	50.4%	33.6%	25.0%	29.7%	26.6%	22.3%	22.7%	17.6%	7.0%	9.8%	10.5%	10.2%	9.8%	4.3%	3.5%
	その他	3	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
年齢別	18～20歳	54	55.6%	35.2%	29.6%	42.6%	31.5%	18.5%	16.7%	9.3%	1.9%	9.3%	7.4%	3.7%	7.4%	3.7%	1.9%
	21～25歳	121	47.1%	28.1%	42.1%	28.9%	16.5%	22.3%	15.7%	14.9%	22.3%	11.6%	5.8%	6.6%	9.9%	5.0%	0.8%
	26～30歳	140	52.1%	31.4%	30.0%	25.7%	19.3%	25.0%	20.0%	18.6%	12.1%	5.7%	9.3%	10.0%	9.3%	4.3%	3.6%
	31～35歳	151	39.7%	36.4%	21.2%	26.5%	29.1%	23.2%	26.5%	15.2%	10.6%	15.9%	12.6%	11.9%	4.6%	7.3%	6.6%

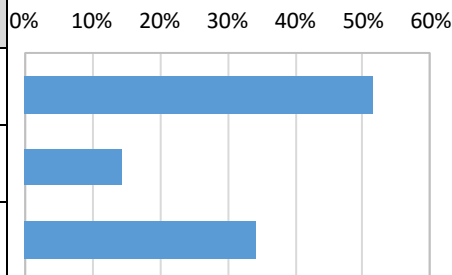
3. 居住意向について

Q17 お住いの状況はどれに該当しますか。

回答者のうち、ずっと徳島市に住んでいる人が 51.5%、U ターンが 14.4%、I ターンが 34.1%となっている。

【回答結果】

回 答	件数	割合	
ずっと徳島市に在住 ※生まれは市外でも、幼少期頃から長く住み続けている場合も含む	240 人	51.5%	
過去に徳島市で住んでいたことがあり、一度他市町村に移り住んだ後、再び徳島市に帰ってきた(U ターン)	67 人	14.4%	
過去に徳島市で住んだことがなく、他市町村から徳島市に移り住んだ(I ターン)	159 人	34.1%	
回答者数	466 人	100%	



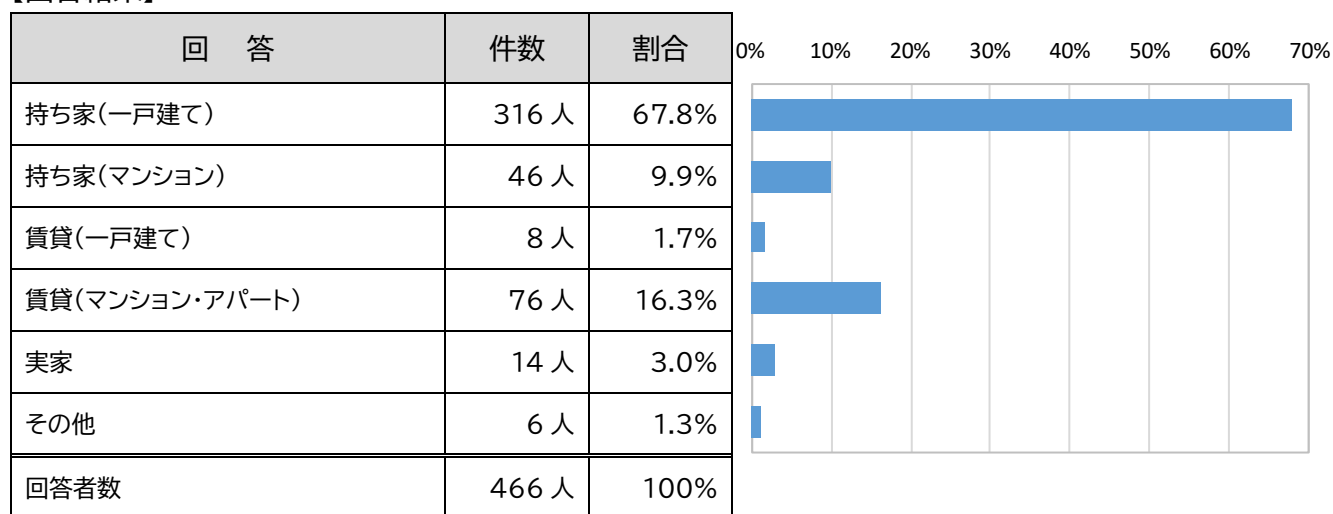
【性別・年齢別】

		回答数 (人)	ずっと徳島市	Uターン	Iターン
性別	男性	207	47.3%	16.4%	36.2%
	女性	256	54.7%	12.9%	32.4%
	その他	3	66.7%	0.0%	33.3%
年齢別	18～20歳	54	72.2%	5.6%	22.2%
	21～25歳	121	60.3%	10.7%	28.9%
	26～30歳	140	50.0%	10.0%	40.0%
	31～35歳	151	38.4%	24.5%	37.1%

Q18 将来的に理想だと思う住まいを選択してください。

「持ち家(一戸建て)」が最も高く 67.8%となっており、次いで「賃貸(マンション・アパート)」、「持ち家(マンション)」が高くなっている。男女では大きな差はないが、21～25 歳は「持ち家(一戸建て)」の割合が高くなっている。

【回答結果】



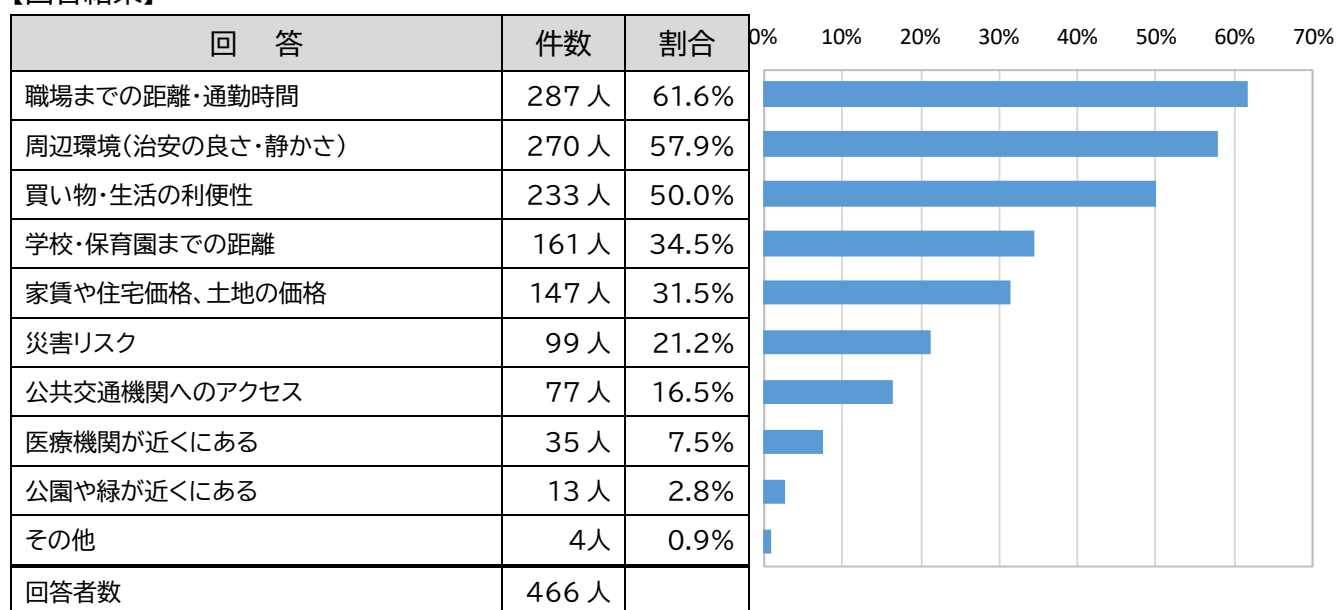
【性別・年齢別】

		回答数 (人)	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション)	賃貸 (一戸建て)	賃貸 (マンション・ アパート)	実家	その他
性 別	男性	207	65.2%	10.6%	1.9%	18.4%	2.4%	1.4%
	女性	256	70.3%	9.0%	1.6%	14.8%	3.5%	0.8%
	その他	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
年 齢 別	18～20歳	54	68.5%	13.0%	1.9%	14.8%	1.9%	0.0%
	21～25歳	121	76.0%	7.4%	0.0%	9.9%	5.8%	0.8%
	26～30歳	140	61.4%	7.9%	3.6%	22.9%	2.9%	1.4%
	31～35歳	151	66.9%	12.6%	1.3%	15.9%	1.3%	2.0%

Q 19 住むエリアを検討するにあたり重要だと思うことを選択してください。(3つまで選択可)

「職場までの距離・通勤時間」が最も高く6割を超えており、次いで「周辺環境」「買い物・生活の利便性」が5割を超えている。男女では大きな差はないが、18～20歳は「公共交通機関へのアクセス」の割合が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

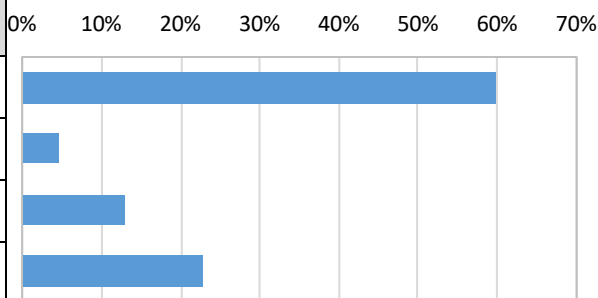
		回答数 (人)	職場までの 距離・通勤 時間	周辺環境 (治安・静 かさ)	買い物・生 活の利便性	学校・保育 園までの 距離	家賃や住宅 価格、土地 の価格	災害リスク	公共交通 機関への アクセス	医療機関が 近くにある	公園や緑が 近くにある	その他
性 別	男性	207	59.9%	56.5%	47.3%	33.3%	33.8%	23.7%	15.5%	7.7%	3.4%	1.4%
	女性	256	63.3%	59.0%	52.0%	35.9%	29.3%	19.5%	17.2%	7.0%	2.3%	0.4%
	その他	3	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
年 齢 別	18～20歳	54	63.0%	59.3%	51.9%	24.1%	25.9%	13.0%	27.8%	7.4%	3.7%	0.0%
	21～25歳	121	58.7%	62.0%	46.3%	35.5%	34.7%	22.3%	14.0%	5.8%	2.5%	1.7%
	26～30歳	140	61.4%	55.7%	49.3%	30.7%	32.9%	23.6%	17.9%	9.3%	0.7%	1.4%
	31～35歳	151	63.6%	56.3%	53.0%	41.1%	29.8%	21.2%	13.2%	7.3%	4.6%	0.0%

Q20 5年後も徳島市に住みつづけていると思いますか。

「住みつづけていると思う」が最も高く約6割となっている。一方で県内他市町村・県外へ転居が17.4%となっている。男性と女性の差はほとんどないが、18～20歳は「県外へ転居していると思う」の割合が高くなっている。また、職業別でみると「学生・専門学生」の約3割が「県外へ転居していると思う」と回答している。

【回答結果】

回 答	件数	割合	
住みつづけていると思う	279人	59.9%	
県内の他市町村へ転居していると思う	21人	4.5%	
県外へ転居していると思う	60人	12.9%	
わからない	106人	22.7%	
回答者数	466人	100%	



【性別・年齢別】

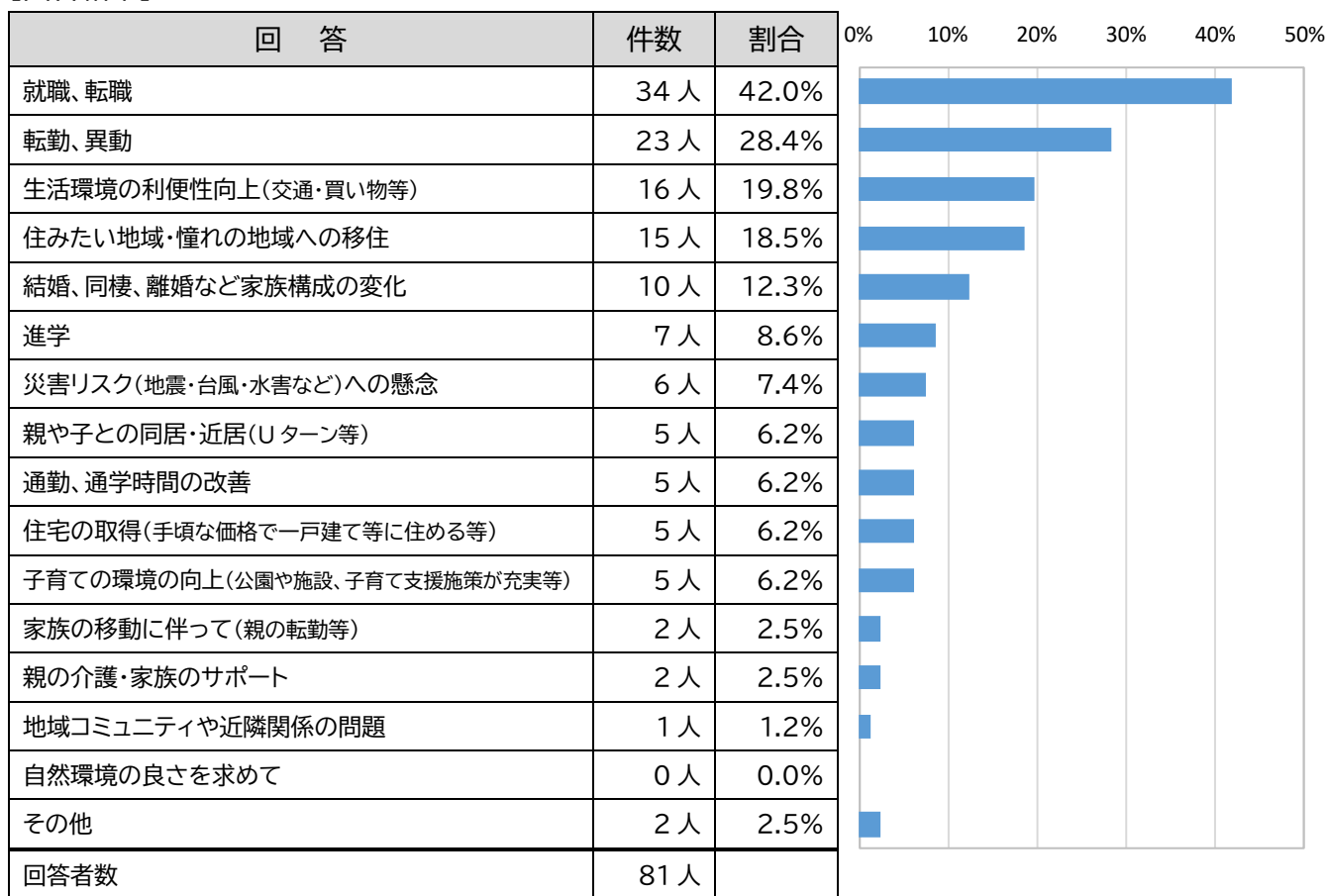
		回答数 (人)	住みつづけて いると思う	県内の他市町 村へ転居して いると思う	県外へ転居して いると思う	わからない
性 別	男性	207	58.5%	5.3%	14.0%	22.2%
	女性	256	61.3%	3.9%	11.3%	23.4%
	その他	3	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
年 齢 別	18～20歳	54	38.9%	5.6%	25.9%	29.6%
	21～25歳	121	53.7%	5.8%	17.4%	23.1%
	26～30歳	140	62.1%	4.3%	10.7%	22.9%
	31～35歳	151	70.2%	3.3%	6.6%	19.9%

(Q20 で「県内の他市町村へ転居していると思う」「県外へ転居していると思う」を選択した人)

Q21 徳島市から転居するであろう理由を選択してください。(3つまで選択可)

「就職、転職」が最も高く42.0%となっており、次いで「転勤、異動」、「生活環境の利便性向上」が高くなっている。男性は女性より「転勤、異動」、女性は男性より「住みたい地域・憧れの地域への移住」「結婚、同棲、離婚など家族構成の変化」が高く、18～20 歳は「就職、転職」「進学」、26～30 歳は「転勤、異動」、31～35 歳は「住宅の取得」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

		回答数 (人)	就職 転職	転勤 異動	生活環境 の利便性 向上	住みた い・憧れ の地域へ の移住	結婚、同 棲など 家族構成 の変化	進学	災害リス クへの 懸念	親や子と の同居・ 近居	通勤、 通学時間 の改善	住宅の 取得	子育て 環境の 向上	家族の 移動に 伴って	親の介 護・家族 のサポー ト	地域コ ミュニ ティや近 隣の問題	自然環境 の良さを 求めて	その他
性別	男性	40	35.0%	37.5%	20.0%	10.0%	2.5%	7.5%	10.0%	10.0%	10.0%	5.0%	5.0%	2.5%	5.0%	2.5%	0.0%	5.0%
	女性	39	48.7%	20.5%	20.5%	28.2%	20.5%	10.3%	5.1%	2.6%	2.6%	7.7%	7.7%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	18～20歳	17	70.6%	17.6%	17.6%	0.0%	5.9%	29.4%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%
	21～25歳	28	39.3%	21.4%	21.4%	25.0%	21.4%	7.1%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	10.7%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%
	26～30歳	21	28.6%	47.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	9.5%	19.0%	4.8%	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	31～35歳	15	33.3%	26.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%

4. 仕事について

(Q3で「学生・専門学校生」「無職」を選択した人)

Q22 将来、県内・県外どちらで働きたいですか。

回答者のうち、「県内で就職したいと考えている」は 39.6%で、「県外で就職したいと考えている」は 44.0%で、県外で就職を考えている人の方が多かった。居住状況(Q17)別でみると、「ずっと徳島市に在住」及び「Uターン」の人は「県内で就職したいと考えている」が 46.4%であった一方で、「Iターン」の人は 18.2%で大きな差があった。

【回答結果】

回 答	件数	割合	0%	10%	20%	30%	40%	50%
県内で就職したいと考えている	36 人	39.6%						
県外で就職したいと考えている	40 人	44.0%						
わからない	15 人	16.5%						
回答者数	91 人	100%						

【性別・年齢別】

		回答数 (人)	県内就職	県外就職	わからない
性 別	男性	35	40.0%	51.4%	8.6%
	女性	56	39.3%	39.3%	21.4%
	その他	0	—	—	—
年 齢 別	18～20歳	47	36.2%	48.9%	14.9%
	21～25歳	39	43.6%	38.5%	17.9%
	26～30歳	1	100.0%	0.0%	0.0%
	31～35歳	4	25.0%	50.0%	25.0%

【居住状況別】

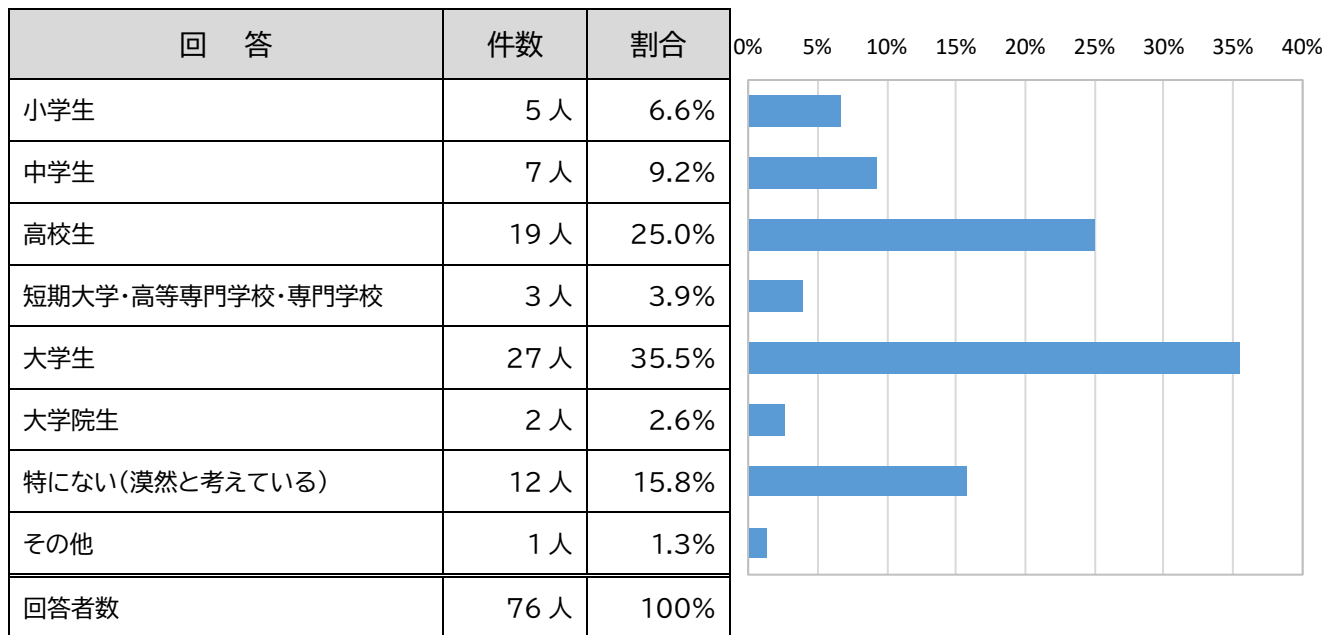
		回答数 (人)	県内就職	県外就職	わからない
居 住 状 況 別	ずっと徳島市に 在住・Uターン	69	46.4%	37.7%	15.9%
	Iターン	22	18.2%	63.6%	18.2%

(Q22で「県内で就職したいと考えている」「県外で就職したいと考えている」を選択した人)

Q23 将来、働きたい場所(就職先)を考え始めたのはいつ頃ですか。

「大学生」が最も多く35.5%となっており、次いで「高校生」、「特にない」となっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

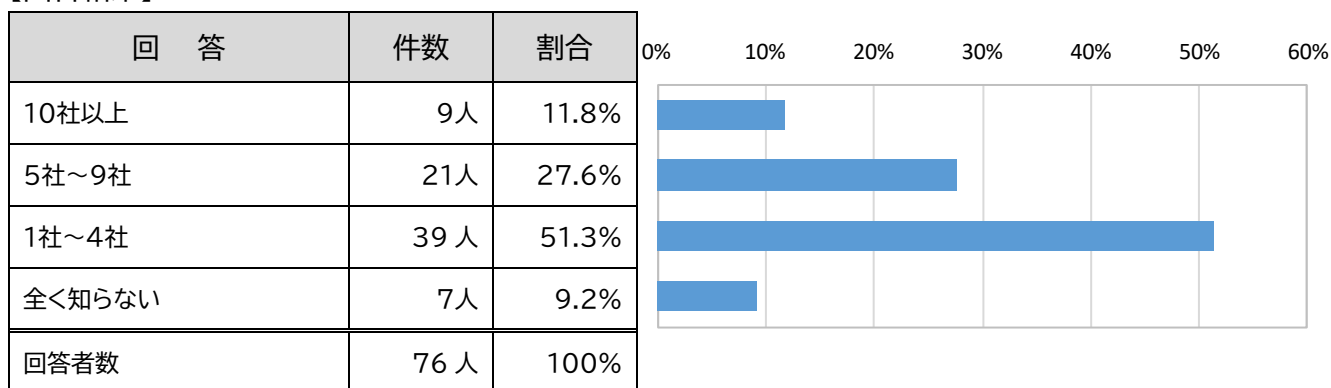
		回答数 (人)	小学生	中学生	高校生	短大・高専・ 専門学校生	大学生	大学院生	特にない	その他
性 別	男性	32	12.5%	3.1%	21.9%	3.1%	40.6%	3.1%	15.6%	0.0%
	女性	44	2.3%	13.6%	27.3%	4.5%	31.8%	2.3%	15.9%	2.3%
	その他	0	—	—	—	—	—	—	—	—
年 齢 別	18～20歳	40	12.5%	10.0%	40.0%	5.0%	12.5%	0.0%	17.5%	2.5%
	21～25歳	32	0.0%	9.4%	6.3%	3.1%	65.6%	6.3%	9.4%	0.0%
	26～30歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	31～35歳	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%

(Q22で「県内で就職したいと考えている」「県外で就職したいと考えている」を選択した人)

Q24 徳島市の企業(社名・業種程度)を何社知っていますか。

「1社～4社」が最も高く半数を超えている。「10社以上」及び「全く知らない」は1割程度であった。

【回答結果】



【性別・年齢別】

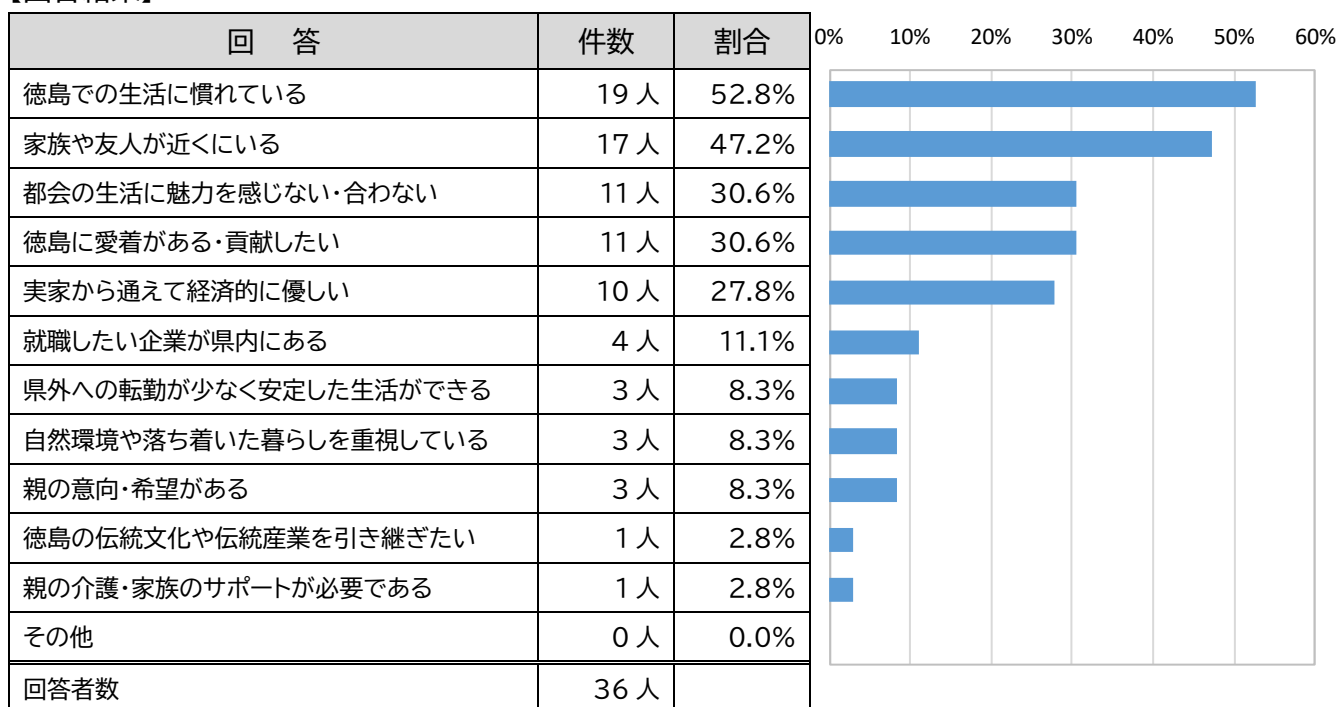
		回答数 (人)	10社以上	5社～9社	1社～4社	全く知らない
性別	男性	32	12.5%	31.3%	46.9%	9.4%
	女性	44	11.4%	25.0%	54.5%	9.1%
	その他	0	—	—	—	—
年齢別	18～20歳	40	2.5%	27.5%	60.0%	10.0%
	21～25歳	32	25.0%	28.1%	43.8%	3.1%
	26～30歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	31～35歳	3	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%

(Q22で「県内で就職したいと考えている」を選択した人)

Q25 県内での就職を希望する理由は何ですか。(3つまで選択可)

「徳島市での生活に慣れている」が最も高く半数を超えており、次いで「家族や友人が近くにいる」、「都会の生活に魅力を感じない・合わない」、「徳島に愛着がある・貢献したい」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

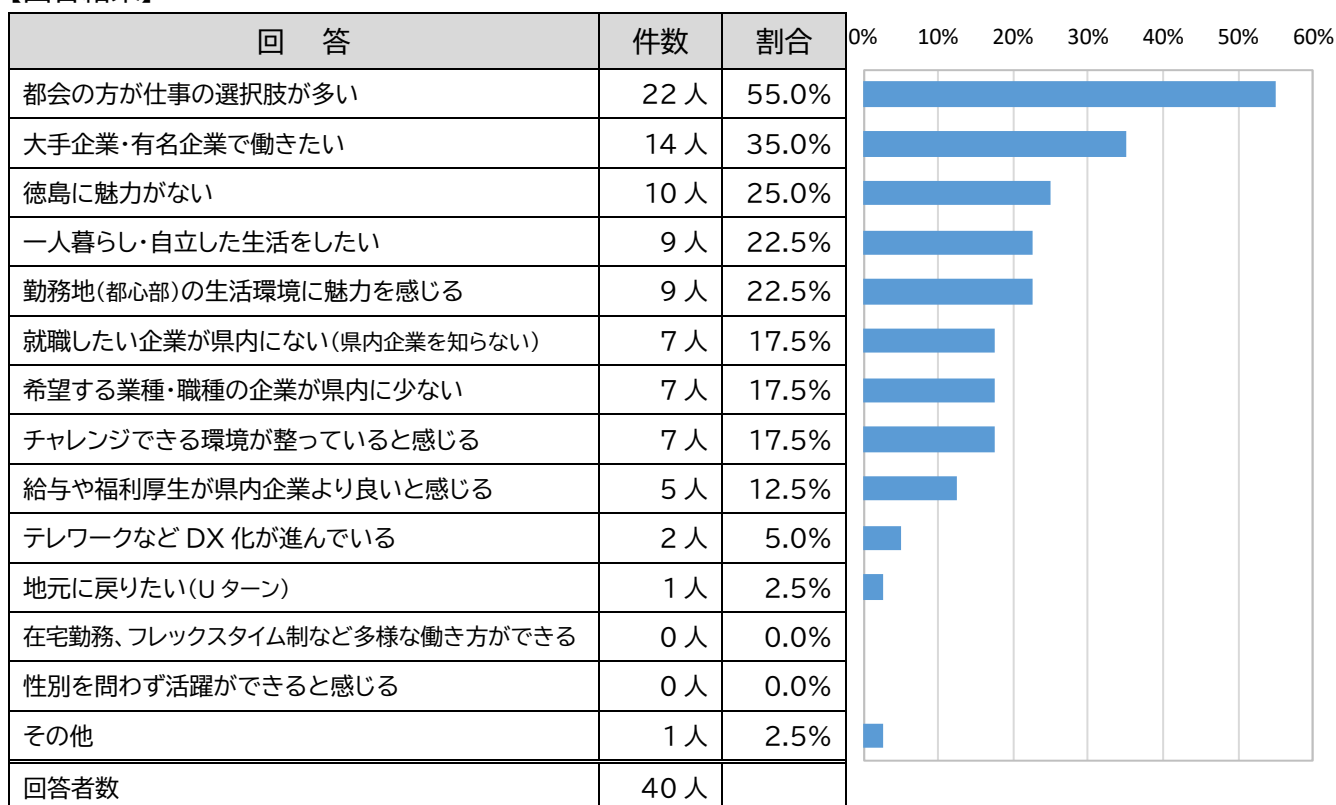
		回答数 (人)	徳島での 生活に 慣れている	家族や 友人が 近くにいる	都会の生活 に魅力を感じない・ 合わない	徳島に 愛着がある 貢献したい	実家から 通えて 経済的に 優しい	就職したい 企業が 県内にある	県外への転 勤が少なく 安定した生 活ができる	自然環境や 落ち着いた 暮らしを 重視	親の意向・ 希望がある	徳島の伝統 文化や伝統 産業を引き 継ぎたい	親の介護・ 家族のサ ポートが必 要である	その他
性 別	男性	14	57.1%	35.7%	35.7%	35.7%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%
	女性	22	50.0%	54.5%	27.3%	27.3%	36.4%	18.2%	4.5%	4.5%	9.1%	0.0%	4.5%	0.0%
	その他	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年 齢 別	18～20歳	17	52.9%	35.3%	23.5%	35.3%	17.6%	5.9%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%
	21～25歳	17	52.9%	58.8%	41.2%	29.4%	35.3%	17.6%	11.8%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	26～30歳	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	31～35歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

(Q22で「県外で就職したいと考えている」を選択した人)

Q26 県外での就職を希望する理由は何ですか。(3つまで選択可)

「都会の方が仕事の選択肢が多い」が最も多く半数を超えており、次いで「大手企業・有名企業で働きたい」、「徳島に魅力がない」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

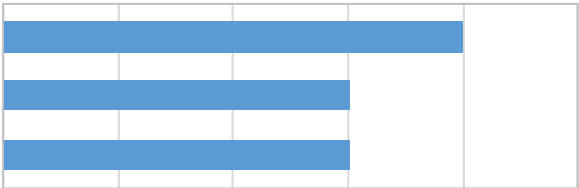
		回答数 (人)	都会の方が 仕事の選択 肢が多い	大手企業・ 有名企業で 働きたい	徳島に 魅力がない	一人暮らし 自立した生 活をしたい	勤務地(都 心部)の生 活環境に魅 力を感じる	就職したい 企業が 県内にない	希望する 業種・職種 の企業が県 内に少ない	チャレンジ できる環境 が整ってい ると感じる	給与や福利 厚生が県内 企業より良 いと感じる	テレワーク などDX化 が進んで いる	地元に戻 りたい (Uターン)	在宅勤務、 フレックス 制など多様 な働き方が できる	性別を問わ ず活躍が できると 感じる	その他
性 別	男性	18	50.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
	女性	22	59.1%	22.7%	31.8%	27.3%	27.3%	22.7%	13.6%	22.7%	22.7%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年 齢 別	18～20歳	23	65.2%	34.8%	26.1%	26.1%	21.7%	8.7%	17.4%	13.0%	8.7%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	21～25歳	15	46.7%	40.0%	20.0%	13.3%	26.7%	33.3%	13.3%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	26～30歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	31～35歳	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(Q22で「県外で就職したいと考えている」を選択した人)

Q27 徳島市においても、Q26 で選択した理由が叶う環境になれば、県内での就職を選びますか。

「はい」が 40.0%、「いいえ」が 30.0%となっている。

【回答結果】

回 答	件数	割合	0%	10%	20%	30%	40%	50%
はい	16 人	40.0%						
いいえ	12 人	30.0%						
わからない	12 人	30.0%						
回答者数	40 人	100%						

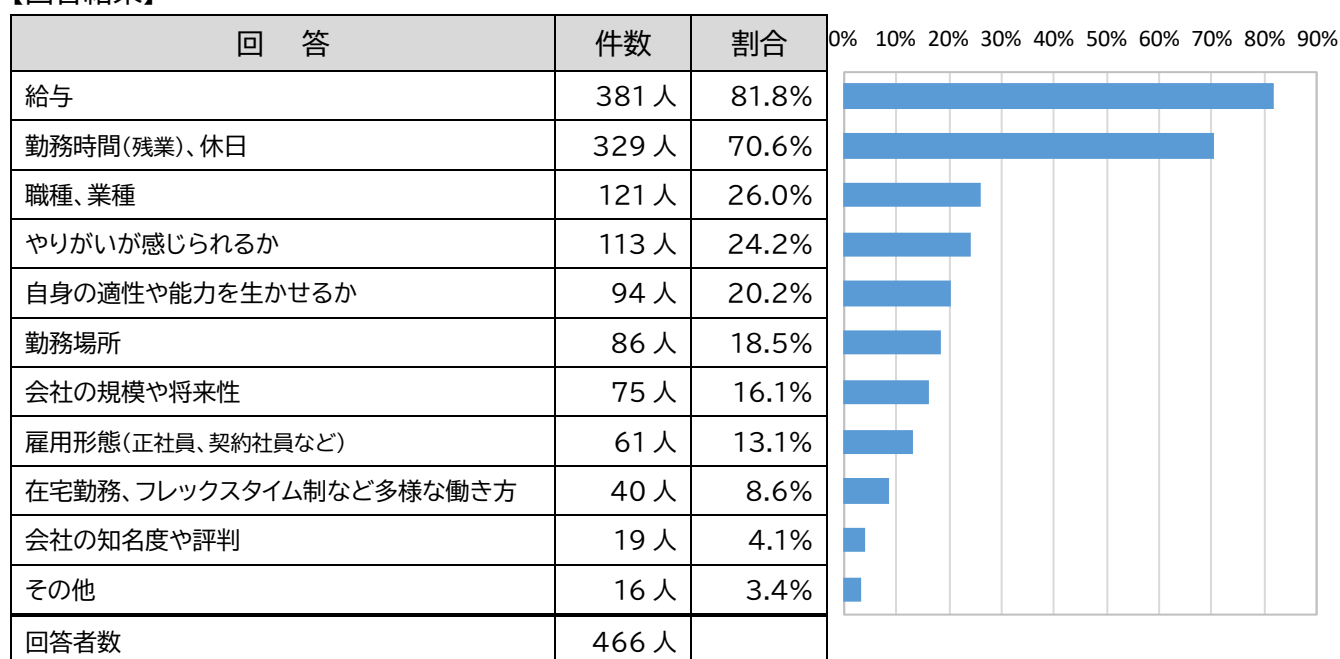
【性別・年齢別】

		回答数 (人)	はい	いいえ	わからない
性 別	男性	18	44.4%	11.1%	44.4%
	女性	22	36.4%	45.5%	18.2%
	その他	0	—	—	—
年 齢 別	18～20歳	23	26.1%	34.8%	39.1%
	21～25歳	15	60.0%	26.7%	13.3%
	26～30歳	0	—	—	—
	31～35歳	2	50.0%	0.0%	50.0%

Q28 仕事や就職先を選ぶ際に、重視することは何ですか。(3つまで選択可)

「給与」が最も多く8割を超えており、次いで「勤務時間(残業)、休日」が約7割、「職種、業種」、「やりがいを感じられるか」が高くなっている。男性と女性で大きな差はないが、18～20 歳は「給与」「職種、業種」、21～25 歳は「勤務場所」が高くなっている。

【回答結果】



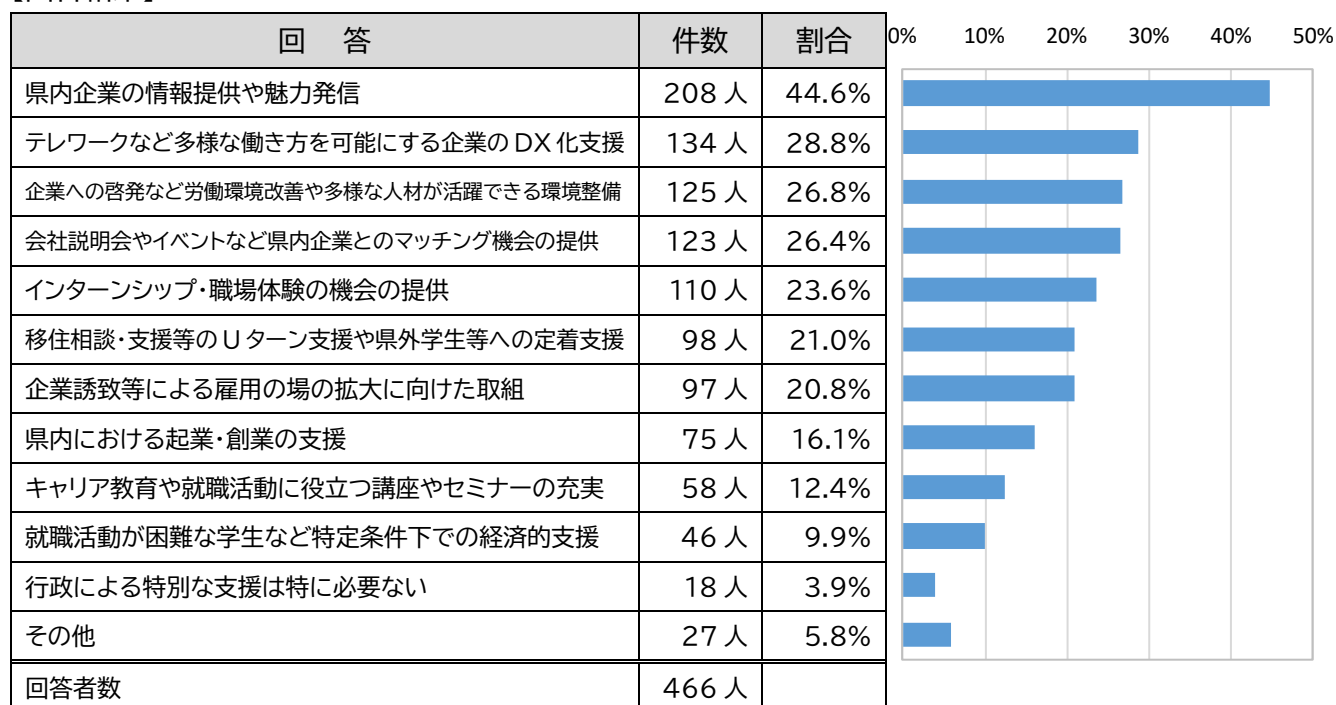
【性別・年齢別】

		回答数 (人)	給与	勤務時間 休日	職種 業種	やりがい	自身の適性 や能力を 生かせるか	勤務場所	会社の規模 や将来性	雇用形態	在宅勤務、 フレックス 制など多様 な働き方	会社の 知名度や 評判	その他
性 別	男性	207	80.7%	68.1%	28.0%	22.2%	22.2%	18.4%	21.3%	9.2%	5.3%	6.3%	3.9%
	女性	256	83.2%	73.0%	24.6%	25.8%	18.0%	18.8%	12.1%	16.0%	10.5%	2.3%	3.1%
	その他	3	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
年 齢 別	18～20歳	54	92.6%	70.4%	46.3%	33.3%	16.7%	5.6%	9.3%	3.7%	7.4%	1.9%	0.0%
	21～25歳	121	80.2%	65.3%	28.9%	25.6%	17.4%	28.1%	18.2%	10.7%	4.1%	5.8%	3.3%
	26～30歳	140	84.3%	71.4%	23.6%	17.9%	22.9%	19.3%	12.9%	15.7%	8.6%	1.4%	5.0%
	31～35歳	151	76.8%	74.2%	18.5%	25.8%	21.2%	14.6%	19.9%	15.9%	12.6%	6.0%	3.3%

Q29 県内就職を推進するために、行政が取り組むべき支援はどのようなものが考えられますか。(3つまで選択可)

「県内企業の情報提供や魅力発信」が最も高く 44.6%となっており、次いで「テレワークなど企業の DX 化支援」、「企業への啓発など労働環境改善等」が高くなっている。男性は女性より「企業誘致等による雇用の場の拡大」が高くなっており、18～20 歳は「インターンシップ・職場体験の機会の提供」、31～35 歳は「テレワークなど企業の DX 化支援」「企業への啓発など労働環境改善等」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

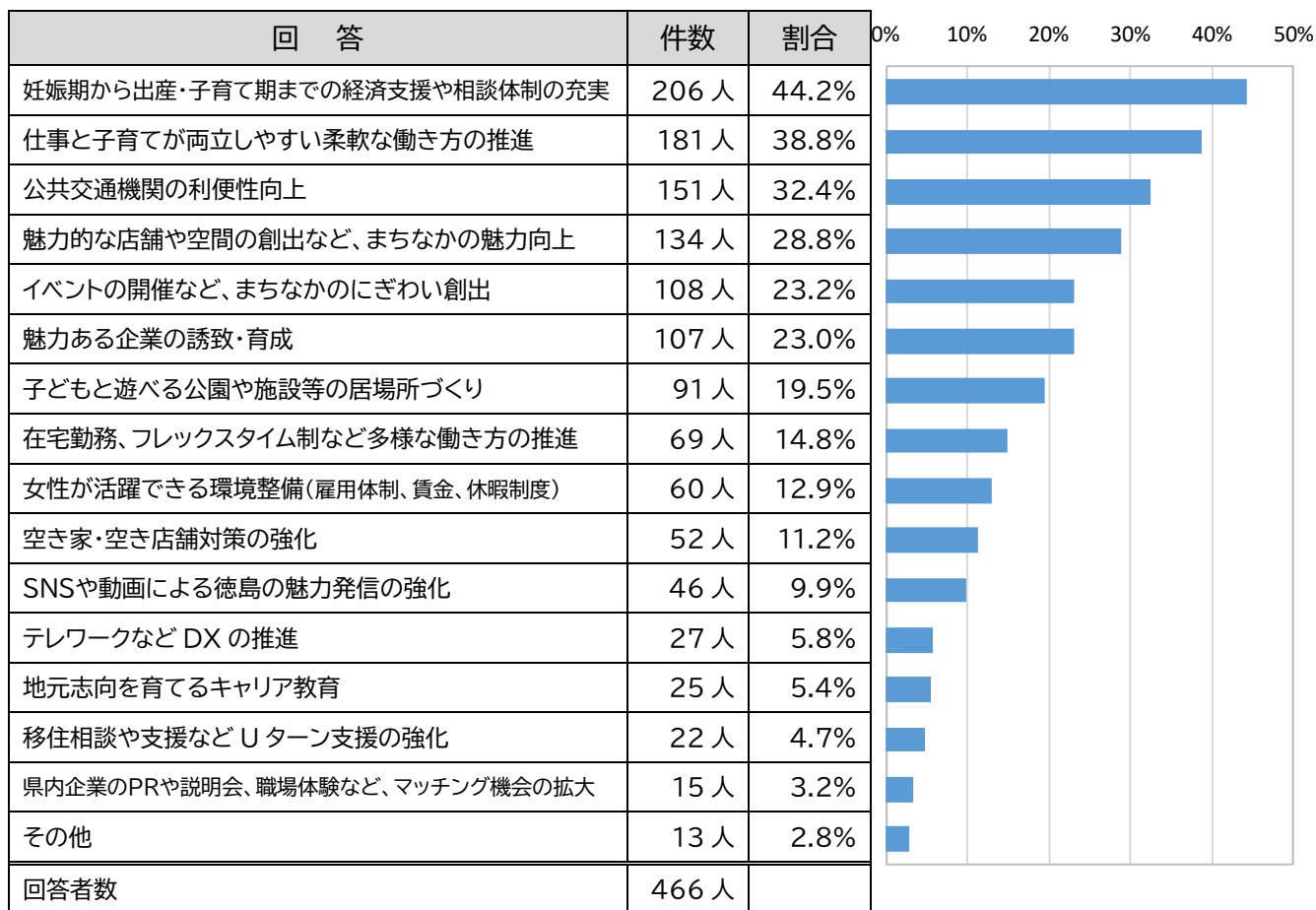
		回答数 (人)	県内企業の 情報提供や 魅力発信	テレワーク など企業の DX化支援	企業への啓 発など労働 環境改善等	会社説明会 など県内 企業との マッチング	インターン シップ・ 職場体験の 機会の提供	移住相談等 の U ターン 支援や 定着支援	企業誘致等 による雇用 の場の拡大	県内におけ る起業・創 業の支援	キャリア教 育や就職活 動に役立つ 講座等	就職活動が 困難な 学生など 経済的支援	行政による 特別な支援 は特に必要 ない	その他
性 別	男性	207	44.9%	23.7%	25.1%	26.1%	22.7%	23.7%	28.0%	21.3%	11.6%	10.6%	5.8%	6.8%
	女性	256	44.1%	32.0%	28.1%	26.6%	24.6%	19.1%	15.2%	11.7%	13.3%	9.4%	2.3%	5.1%
	その他	3	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年 齢 別	18～20歳	54	42.6%	27.8%	27.8%	31.5%	38.9%	13.0%	18.5%	13.0%	13.0%	16.7%	3.7%	0.0%
	21～25歳	121	50.4%	26.4%	15.7%	27.3%	30.6%	24.0%	14.9%	11.6%	12.4%	6.6%	3.3%	5.8%
	26～30歳	140	40.0%	22.1%	27.1%	27.1%	17.9%	15.7%	22.1%	18.6%	11.4%	12.1%	5.0%	10.0%
	31～35歳	151	45.0%	37.1%	35.1%	23.2%	17.9%	26.5%	25.2%	18.5%	13.2%	7.9%	3.3%	4.0%

5. まちづくりについて

Q30 若者に選ばれる徳島市になるためにどのような取組が必要と思いますか。(3つまで選択可)

「妊娠期から出産・子育て期までの経済支援等」が最も高く 44.2%となっており、次いで「仕事と子育てが両立しやすい柔軟な働き方」、「公共交通機関の利便性向上」が高くなっている。男性は女性より「魅力的な店舗や空間の創出等」、女性は男性より「女性が活躍できる環境整備」が高くなっており、21～25歳は「魅力的な店舗や空間の創出等」、26～30歳は「公共交通機関の利便性向上」が高くなっている。

【回答結果】



【性別・年齢別】

		回答数 (人)	妊娠期から 出産・子育て 期までの 切れ目の ない支援	仕事と子育て が両立し やすい柔軟 な働き方の 推進	公共交通機 関の利便性 向上	魅力的な店 舗や空間を 創出など、 まちなかの 魅力向上	イベントの 開催など、 まちなかの にぎわい 創出	魅力ある企 業の誘致・ 育成	子どもと遊 べる公園や 施設等の居 場所づくり	在宅勤務、 フレックス タイム制な ど多様な働 き方の推進	女性が活躍 できる環境 整備	空き家・空 き店舗対策 の強化	SNSや動画 による徳島 の魅力発信 の強化	テレワーク などDXの 推進	地元志向を 育てるキャ リア教育	移住相談や 支援など Uターン 支援の強化	県内企業 PRや会社 説明会など マッチング 機会の拡大	その他
性別	男性	207	41.5%	33.8%	33.8%	29.5%	21.3%	34.3%	22.7%	9.2%	4.8%	12.1%	10.6%	7.7%	5.3%	3.4%	4.3%	4.3%
	女性	256	46.5%	42.6%	31.6%	28.5%	24.2%	14.1%	17.2%	18.8%	19.5%	10.2%	9.4%	4.3%	5.5%	5.5%	2.3%	1.6%
	その他	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
年齢別	18～20歳	54	31.5%	33.3%	35.2%	27.8%	31.5%	29.6%	16.7%	9.3%	9.3%	9.3%	9.3%	7.4%	3.7%	1.9%	7.4%	3.7%
	21～25歳	121	45.5%	33.1%	25.6%	38.8%	22.3%	24.8%	17.4%	14.0%	14.0%	9.9%	15.7%	2.5%	7.4%	3.3%	3.3%	1.7%
	26～30歳	140	48.6%	40.7%	41.4%	22.1%	22.1%	20.0%	15.0%	17.9%	11.4%	10.0%	6.4%	5.7%	2.1%	6.4%	2.9%	4.3%
	31～35歳	151	43.7%	43.7%	28.5%	27.2%	21.9%	21.9%	26.5%	14.6%	14.6%	13.9%	8.6%	7.9%	7.3%	5.3%	2.0%	2.0%

- 徳島市役所からのお知らせ -



その意見、
徳島市に
届けてみん？

「若者の声アンケート」へのご協力をよろしくお願いします。



トクシヤ

ぜひ、
率直なご意見を
お聞かせくだ
さい！

徳島市長
遠藤 彰良



▲若者の声アンケートについて

徳島市の将来を担う若者の皆様の声は、これからのまちづくりに
欠かせない大切なヒントです。本アンケートは、皆様の実態や思いを
伺い、誰もが自分らしく躍動し、活躍できる魅力あるまちづくりに生
かすために実施するものです。

回答方法

I ご自分のスマホや PC で
下記の二次元バーコード
または URL から、回答
ページを開いてください。



<https://logoform.jp/form/fZa2/1528996>

▶ **2 ログイン番号とパスワード**
を入力し、「次に進む」を
クリックして質問に回答
します。



ご協力いただいた方へ抽選で10名様に、
QUO カード 1,000円分をプレゼント！
 アンケートの最後に表示される URL からぜひご応募
 ください。

※ 当選者の開費は、開選をもってかえさせていただきます。

▼ あなたのログイン番号

0000000000

▼ あなたのパスワード

abc123

【エー・ビー・シー・いち・に・さん】

※ログイン番号は重複回答を防ぐために設定しており、**個人を特定するものではありません。**

- このアンケートは市内にお住まいの18歳から34歳の方の中から、2,500人を無作為に抽出し配布しております。
- 無記名でご回答いただき、回答結果は統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしません。

徳島市ホームページにこのアンケートのことを掲載しています。徳島市ホームページ内で「若者の声アンケート」を検索するか、右記の二次元バーコードからご確認いただけます。



▲アンケート締切 2026年6月15日(月)まで

お問い合わせ先

徳島市役所 企画政策課

TEL 088-621-5085



参考資料（調査項目一覧）

若者の声アンケート 調査票

0. あなた自身について

Q1. あなたの年齢を選んでください。(全員)

(18～35 歳)歳

Q2. あなたの性別を選んでください。(全員)

- 1 男性
 - 2 女性
 - 3 その他
-

Q3. あなたの職業を選んでください。(全員)

- 1 会社員等(団体職員・公務員・役員・専門職を含む)
 - 2 自営業(農林水産業等従事者も含む)
 - 3 パート、アルバイト、派遣職員
 - 4 家事専業
 - 5 学生・専門学校生
 - 6 無職
 - 7 その他
-

1. 結婚について

Q4. あなたは、現在、結婚されていますか。(全員)

- 1 結婚している → Q4a 結婚した時の年齢:(16～35 歳)歳
- 2 結婚していない(交際相手がいる)
- 3 結婚していない(交際相手がない)

※本アンケートでいう結婚とは、事実婚やパートナーシップ宣誓をされている場合も含む

Q5. 現在の結婚相手や交際相手とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。

(Q4 で「1 結婚している」「2 結婚していない(交際相手がいる)」を選択した人)

- 1 学校で
 - 2 職場や仕事の関係で
 - 3 幼なじみ・隣人関係
 - 4 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで
 - 5 友人や兄弟姉妹を通じて
 - 6 見合いで(親せき・上役などの紹介も含む)
 - 7 結婚相談所で(オンラインを含む)
 - 8 まちなかや旅先で
 - 9 アルバイトで
 - 10 SNS、ウェブサイト、アプリ等のネットで
 - 11 その他
-

Q6. あなたは、結婚したいと思いますか。

(Q4 で「2 結婚していない(交際相手がいる)」「3 結婚していない(交際相手がいない)」を選択した人)

- 1 すぐにでも結婚したい → Q6a 結婚したい年齢:(18～50 歳以上)
 - 2 いずれは結婚したい → Q6a 結婚したい年齢:(18～50 歳以上)
 - 3 結婚したいと思わない
-

Q7. あなたが現在独身でいる理由を次の中から選んでください。 ※3つまで選択可

(Q4 で「2 結婚していない(交際相手がいる)」「3 結婚していない(交際相手がいない)」を選択した人)

- 1 まだ若すぎる
- 2 今は、仕事や学業に打ち込みたい
- 3 今は、趣味や娯楽を楽しみたい
- 4 自由な生活を維持したい
- 5 仕事と結婚生活の両立が困難
- 6 出会いの機会が少ない、理想の相手に出会えていない
- 7 パートナーとの関係構築に自信がない
- 8 結婚生活が不安
- 9 経済的な不安
- 10 出産や子育てが不安
- 11 雇用が不安定
- 12 親や周囲など結婚に反対する人がいる
- 13 健康上の理由(身体的・精神的)
- 14 結婚する必要性を感じない
- 15 その他

Q8. 今後、あなたのお考えが「結婚したい」に変わる可能性はありますか。

(Q6 で「3 結婚したいと思わない」を選択した人)

- 1 あると思う
- 2 あるかもしれない
- 3 たぶんないと思う
- 4 ないと思う

Q9. 「結婚したい」に変わるとすると、その理由として考えられるものを選んでください。※3つまで選択可 (Q8で「1 あると思う」「2 あるかもしれない」「3 たぶんないと思う」を選択した人)

- 1 雇用・労働条件が改善する
- 2 収入や貯蓄が増える
- 3 子育て支援策が充実する
- 4 家事・育児をパートナーと分けあう社会になる
- 5 家族を養う責任をパートナー同士で担う社会になる
- 6 結婚に関する法律や制度が変わる
- 7 パートナーと出会う機会が増える
- 8 結婚したいと思う相手が現れる
- 9 子どもができる
- 10 自分や家族の個人的事情が変わる
- 11 その他

2. 子どもについて

Q10. あなたは、現在、子どもはいますか。(全員)

- 1 いる
- 2 いない

Q11. 子どもをもつなら何人が理想ですか。(全員)

- 1 0人
- 2 1人
- 3 2人
- 4 3人
- 5 4人
- 6 5人
- 7 6人
- 8 7人
- 9 8人以上

Q12. 理想とは別に、現実は何人子どもをもつと思いますか。(全員)

- 1 0人
- 2 1人
- 3 2人
- 4 3人
- 5 4人
- 6 5人
- 7 6人
- 8 7人
- 9 8人以上

Q13. 理想とする子ども数と現実でもつであろう子ども数を比べるとどちらが多いですか。(全員)

- 1 理想とする子ども数が多い
- 2 理想とする数と現実でもつであろう子ども数は同じ
- 3 現実でもつであろう子ども数が多い

Q14. 理想とする子どもの人数を現実では持てないと思われる理由を選んでください。

※3つまで選択可 (Q13 で「1 理想とする子ども数が多い」を選択した人)

- 1 子育てにかかる経済的負担が大きい
- 2 将来の収入や雇用に不安がある
- 3 仕事と子育ての両立が難しいと感じる
- 4 自分や夫婦の自由な時間を大切にしたい
- 5 妊娠・出産に対する身体的・精神的負担が大きいから
- 6 子育てに対する身体的・精神的負担が大きいから
- 7 子育て環境(保育所・学童保育・支援制度など)が不十分だと感じる
- 8 家族や周囲からの支援が期待できない
- 9 高齢出産となり不安がある
- 10 パートナーが子どもを望んでいない
- 11 健康上・身体的な理由
- 12 もともと子どもが好きではない
- 13 その他

Q15. あなたが、子どもを希望しない理由について、あてはまるものを選んでください。

※3つまで選択可（Q11で「10人」を選択した人）

- 1 子育てにかかる経済的負担が大きい
- 2 将来の収入や雇用に不安がある
- 3 仕事と子育ての両立が難しいと感じる
- 4 自分や夫婦の自由な時間を大切にしたい
- 5 妊娠・出産に対する身体的・精神的負担が大きいから
- 6 子育てに対する身体的・精神的負担が大きいから
- 7 子育て環境(保育所・学童保育・支援制度など)が不十分だと感じる
- 8 家族や周囲からの支援が期待できない
- 9 高齢出産となり不安がある
- 10 パートナーが子どもを望んでいない
- 11 健康上・身体的な理由
- 12 もともと子どもが好きではない
- 13 その他

Q16. 結婚・出産・子育てについて、行政が取り組むべき支援はどのようなものが考えられますか。

(全員) ※3つまで選択可

- 1 出会いの機会創出(婚活イベント・マッチング支援)
- 2 結婚に伴う費用(新生活・住居など)への補助
- 3 不妊治療・不育治療への助成拡大
- 4 妊娠・出産にかかる費用の負担軽減
- 5 妊娠期から出産・子育て期までの切れ目ない相談支援体制
- 6 出産一時金や祝い金などの経済的支援
- 7 病児・病児後保育や一時預かりの充実
- 8 保育料の軽減・無償化の拡大
- 9 保育所・認定こども園の整備や入所しやすい環境づくり
- 10 育児休業・時短勤務など仕事と子育てが両立できる環境づくりの促進(企業連携)
- 11 子どもの遊び場・居場所づくり
- 12 子どもと出かけやすい環境づくり(歩道幅の確保や公共交通機関の充実)
- 13 学童保育の充実など、放課後児童対策
- 14 教育費(給食費・教材費など)の負担軽減
- 15 その他

3. 居住意向について

Q17. お住まいの状況はどれに該当しますか。(全員)

- 1 ずっと徳島市に在住 ※生まれは市外でも、幼少期頃から長く住み続けている場合も含む
 - 2 過去に徳島市で住んでいたことがあり、一度他市町村に移り住んだ後、再び徳島市に帰ってきた(Uターン)
 - 3 過去に徳島市で住んだことがなく、他市町村から徳島市に移り住んだ(Iターン)
-

Q18. 将来的に理想だと思う住まいを選択してください。(全員)

- 1 持ち家(一戸建て)
 - 2 持ち家(マンション)
 - 3 賃貸(一戸建て)
 - 4 賃貸(マンション・アパート)
 - 5 実家
 - 6 その他
-

Q19. 住むエリアを検討するにあたり重要だと思うことを選択してください。(全員)

※3つまで選択可

- 1 職場までの距離・通勤時間
 - 2 学校・保育園までの距離
 - 3 公共交通機関へのアクセス
 - 4 周辺環境(治安の良さ・静かさ)
 - 5 家賃や住宅価格、土地の価格
 - 6 買い物・生活の利便性
 - 7 医療機関が近くにある
 - 8 公園や緑が近くにある
 - 9 災害リスク
 - 10 その他
-

Q20. 5年後も徳島市に住みつづけていると思いますか。(全員)

- 1 住みつづけていると思う(市内の別の地域への転居含む)
- 2 県内の他市町村へ転居していると思う
- 3 県外へ転居していると思う
- 4 わからない

Q21. 徳島市から転居するであろう理由を選択してください。 ※3つまで選択可
(Q20で「2県内の他市町村へ転居していると思う」「3 県外へ転居していると思う」を選択した人)

- 1 進学
- 2 就職、転職
- 3 転勤、異動
- 4 結婚、同棲、離婚など家族構成の変化
- 5 親や子との同居・近居(Uターン等)
- 6 家族の移動に伴って(親の転勤等)
- 7 親の介護・家族のサポート
- 8 自然環境の良さを求めて
- 9 住みたい地域・憧れの地域への移住
- 10 生活環境の利便性向上(交通・買い物等)
- 11 災害リスク(地震・台風・水害など)への懸念
- 12 通勤、通学時間の改善
- 13 住宅の取得(手頃な価格で一戸建てやマンションなどに住める等)
- 14 子育ての環境の向上(子どもが遊べる公園や施設がある、子育て支援施策が充実している等)
- 15 地域コミュニティや近隣関係の問題
- 16 その他

4. しごとについて

Q22. 将来、県内・県外どちらで働きたいですか。
(Q3で「5学生・専門学校生」「6 無職」を選択した人)

- 1 県内で就職したいと考えている
 - 2 県外で就職したいと考えている
 - 3 わからない
-

Q23. 将来、働きたい場所(就職先)を考え始めたのはいつ頃ですか。
(Q22で「1 県内で就職したいと考えている」「2 県外で就職したいと考えている」を選択した人)

- 1 小学生
- 2 中学生
- 3 高校生
- 4 短期大学・高等専門学校・専門学校
- 5 大学生
- 6 大学院生
- 7 特にない(漠然と考えている)
- 8 その他

Q24. 徳島市の企業(社名・業種程度)を何社知っていますか。

(Q22で「1 県内で就職したいと考えている」「2 県外で就職したいと考えている」を選択した人)

- 1 10社以上
 - 2 5社～9社
 - 3 1社～4社
 - 4 全く知らない
-

Q25. 県内での就職を希望する理由は何ですか。 ※3つまで選択可

(Q22で「1 県内で就職したいと考えている」を選択した人)

- 1 就職したい企業が県内にある
 - 2 徳島の伝統文化や伝統産業を引き継ぎたい
 - 3 県外への転勤が少なく安定した生活ができる
 - 4 実家から通えて経済的に優しい
 - 5 家族や友人が近くにいる
 - 6 都会の生活に魅力を感じない・合わない
 - 7 自然環境や落ち着いた暮らしを重視している
 - 8 徳島に愛着がある・貢献したい
 - 9 徳島での生活に慣れている
 - 10 親の意向・希望がある
 - 11 親の介護・家族のサポートが必要である
 - 12 その他
-

Q26. 県外での就職を希望する理由は何ですか。 ※3つまで選択可

(Q22で「2 県外で就職したいと考えている」を選択した人)

- 1 都会の方が仕事の選択肢が多い
- 2 大手企業・有名企業で働きたい
- 3 就職したい企業が県内にない(県内企業を知らない)
- 4 希望する業種・職種の企業が県内に少ない
- 5 給与や福利厚生が県内企業より良いと感じる
- 6 在宅勤務、フレックスタイム制など多様な働き方ができる
- 7 テレワークなど DX 化が進んでいる
- 8 性別を問わず活躍ができると感じる
- 9 チャレンジできる環境が整っていると感じる
- 10 一人暮らし・自立した生活をしたい
- 11 地元に戻りたい(Uターン)
- 12 勤務地(都心部)の生活環境に魅力を感じる
- 13 徳島に魅力がない
- 14 その他

Q27. 徳島市においても、問26 で選択した理由が叶う環境になれば、県内での就職を選びますか。（Q22で「2 県外で就職したいと考えている」を選択した人）

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

Q28. 仕事や就職先を選ぶ際に、重視することは何ですか。（全員） ※3つまで選択可

- 1 給与
- 2 勤務時間(残業)、休日
- 3 職種、業種
- 4 会社の規模や将来性
- 5 会社の知名度や評判
- 6 自身の適性や能力を生かせるか
- 7 やりがいが感じられるか
- 8 雇用形態(正社員、契約社員など)
- 9 在宅勤務、フレックスタイム制など多様な働き方
- 10 勤務場所
- 11 その他

Q29. 県内就職を推進するために、行政が取り組むべき支援はどのようなものが考えられますか。（全員） ※3つまで選択可

- 1 県内企業の情報提供や魅力発信
- 2 インターンシップ・職場体験の機会の提供
- 3 会社説明会やイベントなど県内企業とのマッチング機会の提供
- 4 キャリア教育や就職活動に役立つ講座やセミナーの充実
- 5 企業への啓発など労働環境改善や多様な人材が活躍できる環境整備
- 6 テレワークなど多様な働き方を可能にする企業の DX 化支援
- 7 就職活動が困難な学生など特定条件下での経済的支援
- 8 移住相談・支援等の U ターン支援や県外学生等への定着支援
- 9 企業誘致等による雇用の場の拡大に向けた取組
- 10 県内における起業・創業の支援
- 11 行政による特別な支援は特に必要ない
- 12 その他

5. まちづくりについて

Q30. 若者に選ばれる徳島市になるためにどのような取組が必要と思いますか。(全員) ※3つまで選択可

- 1 妊娠期から出産・子育て期までの切れ目のない経済支援や相談体制の充実
- 2 子どもと遊べる公園や施設等の居場所づくり
- 3 仕事と子育てが両立しやすい柔軟な働き方の推進
- 4 魅力ある企業の誘致・育成
- 5 在宅勤務、フレックスタイム制など多様な働き方の推進
- 6 テレワークなど DX の推進
- 7 県内企業のPRや会社説明会、インターンシップ、職場体験など、マッチング機会の拡大
- 8 女性が活躍できる環境整備(雇用体制、賃金、休暇制度)
- 9 地元志向を育てるキャリア教育(徳島の魅力を子どもの頃から知ってもらう)
- 10 SNSや動画による徳島の魅力発信の強化
- 11 魅力的な店舗や空間の創出など、まちなかの魅力向上
- 12 イベントの開催など、まちなかのにぎわい創出
- 13 公共交通機関の利便性向上
- 14 移住相談や支援など U ターン支援の強化
- 15 空き家・空き店舗対策の強化
- 16 その他

Q31. 徳島市の今後のまちづくりについて、ご意見などありましたら、ご自由にご記入ください。
(全員) ※自由記載
